

第六十二回
帝國議會
貴族院

昭和七年法律第一號中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

付託議案

造幣局資金拂出ニ關スル法律案

昭和七年六月十三日(月曜日)午前十時九分開會

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ是ヨリ特別委員會ヲ開會イタシマス、大藏大臣

ガ御出席ニナッテ居リマスカラ、加藤政之助君カラ御質問ヲ先ヅ始めテ戴キマス

○加藤政之助君

私ハ大藏大臣ニ御伺ワシ

テ疑問ヲ明カニシタイト斯ウ思フノデアリマス、ソレハ過目ノ本會議ニ於キマシテ、

私ハ財政上收支ノ均衡ヲ維持スルコトハ必

要ダト云フ考デアリマスガ、其問題ニ付テ

大藏大臣ニ御質問申上ゲタ、所ガソレハ必

要デアラウ、ケレドモ、ソレヲ次ノ六十三

議會迄ニ實行スルト云フコトハ請合ヘナイ

ト云フ御答辯デアリマシタ、所ガ豫算委員會

ニ於ケル當原君ノ質問ニ對シテハ大藏大臣

ハ今擔稅力ガ國民ニナイ、收支ノ均衡ヲ維

持スルトナレバ増稅ノ方針ヲ執ルヨリ仕方

ガナイ、所ガ擔稅力ノナイ國民ニ向ッテ増稅

ヲ強ヒル譯ニハ行カヌカラ、此經濟上ノ狀

態ガ今日ヨリ建直ッテ、擔稅力ガ出來タ時デ

ナケレバ、其實行ハ出來ナイト云フヤウナ

御答ガアッタヤウデアリマス、所ニ總理大臣

ハ本會議ニ於テ此收支ノ均衡ヲ維持セシム

ルコトハ必要デアル、故ニ自分ハ出來ル限

リ努力スル、斯ウ云フ御答辯ガアッタヤウデ

アリマス、サウスルト此總理大臣ノ御答辯

ト大藏大臣ノ御答辯トノ間ニハ餘程差異ガ

アルヤウデアアル、又私ニ對スル御答辯ト菅

原君ニ對スル御答辯ト、此間ニモ餘程差異

ガアルヤウデアリマス、ソコデ私ハ政府ノ

意思ガ果シテ何處ニアルノデアアルカ、收支

ノ均衡ヲ維持スルコトハ必要デアアルガ、現

狀デハドウシテモ出來ナイ、經濟界ガ恢復

シテ、國民ガ擔稅力ノ出來タ時ニ初メテヤ

ルノデアアル、ソレマデハ已ムヲ得ズ此借金

政策……金ヲ借リテ公債デ赤字ヲ補填スル

ト云フ方針ヲ執ルヨリ外仕方ガナイ、斯ウ

云フ御意見デアリマセウガ、其收支ノ均衡

ヲ維持スルノ策ハ單リ増稅、カリデハナ

イ、一面考ヘレバ、政費ノ節約モ亦其力ノ

大ナルモノガアルト考ヘルノデアリマス、

政府ハ節約等ヲ將來爲シテ、サウシテ收支

ノ均衡ヲ維持セシムルト云フ御考ハナイノ

デアリマセウカ、節約モ私共モ自分ノ調査

會デ研究イタシタコトガアリマスガ、ヤレ

バヤレスコトハナイ、私ノ私案ニ依レバ一

億六七千万圓ハ節約ガ出來ル用途ガ立ッ

ガ、遂ニソレガ半バノ七千万圓前後デ前々

内閣ハ終ッテ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ政

府ガ節約ヲ一方ニ努メルトシタナラバ、節

約ガ出來ヌコトハナイ、例ヘテ言ッテ見レバ

此米穀運用法ノ如キモ運用其宜シキヲ得ナ

イカラ一億五六千万圓ノ損失ヲ國家ガ負擔

スルト云フコトニナル、又此生絲補償法モ私

ハ其當ヲ得ナカッタヤリ方デアアル、ソレガ

故ニ一億前後モ今度ハ損害ヲ國家ガ負擔シ

ナケレバナラヌト云フ結果ニナツタラ

ウト思フ、左様ニ舉ゲ來レバ政府ガ慎重ノ

態度ヲ以テ財政ニ臨メバ、今日ト雖モ節約

ノ餘地ハ確カニナイコトハナイト思フノデ

アリマスガ、現大藏大臣タル高橋氏ハ節約

ノ方ハ最早今日マデヤッタ揚句デアルシ將

來望ミハナイカラ、ソレニモ手ヲ著ケス、

増稅モ景氣ガ恢復シテ擔稅力ガ出來ルマデ

ハヤラスト、サウスレバ先ヅ將來三年ト云

フカ五年ト云フカ、其間ハ借金政策デ行ク、

赤字補填ハ一切公債デ行ク、斯ウ云フ御考

ノヤウニ私ニハ受取レルノデアリマスガ、

今マデノ答辯ガ一致シテ居リマセヌカラ其

間ニ私ノ疑問ガアル、國民モ極メテ此間ニ

疑問ヲ懷クデアラウト思フ、此點ニ付テ明

快ナル大藏大臣ノ御答辯ヲ願ヒ、サウシテ

前途ハ是ヨリ外仕方ガナイト云フ安心ヲ得

タイ、斯ウ思フノデアリマス

○國務大臣(高橋是清君) 加藤君ニ御答ヲ

致シマスガ、第一ニ此財政上收支ノ均衡ヲ

得ルト云フコトハ申ス迄モナク勿論必要ナ

ノデアリマス、是ハモウ私ガ之ヲ輕ク見ル

譯デヤナイ、故ニ出來ルダケ此均衡ヲ得ル

コトニ努力ヲセナケレバナラヌコトハ申ス

迄モナイ、唯茲ニ手段ヲ如何ニスルカ、其

方法ヲ如何ニスルカト云フコトガ大切ナ間

題トシテ殘ルノデアリマス、ソレデ總理大

臣モ出來ルダケ此均衡ヲ得ルヤウニ、即チ

赤字公債ノ出ナイヤウニ努力スルト言ハレ

タノモ私ノ考ヘテ居ル所モ、其希望ニ至ッ

ハ少シモ變リハナイノデス、唯如何ニシテ

此均衡ヲ得ルカト云フコトガ困難ナ問題ナ

ノデアリマス、此均衡ヲ得ルノニハ只今仰

セノ如ク増稅ノ途モ一ツノ方法デアリマ

ス、又政費ノ節約モ一ツノ方法デアリマス、

偕テ現在ノ我國ノ情勢ニ於テ此際増稅ヲス

ルカ、ドウ云フモノニ向ッテ増稅ヲスルカ、

直接稅が段々不景氣ノ爲ニ減少シツツアル場合デアリマス、直接稅ニ於テ増稅ヲセムトスレバ營業稅、或ハ所得稅ヲ増スヨリ外ニ仕樣ガナイ、先ヅ是ガ主ナルモノデアアル、私ノ考ヘル所デハ今日ハ兩方トモ之ヲ行フ時期デナイト思フ、ト云フモノハ所得稅モ今日ハ皆減リツツアル、國民全體ノ收入ガ減リツツアル、ソレデ是ガ外國、英吉利ヤ亞米利加ト少シ異ッテ居ル事情デアアル、我國ニハ從來富豪トカ豪家トカ云ッテ地方デモ隨分長者ト代稱ヘラレタ人モ澤山アルノデアリマスケレドモ、是ハ昨日モ豫算總會ニ於テ菅原君ノ御質問ニ對シテ申上ゲタト思ッテ思リマスガ、全體ニ我國ノ從來カラノ豪家ト稱ヘラルル、即チ物持ト稱ヘラルル者ハ多クハ土地ヲ澤山持ッテ居ル、田地、田畑及山林カラノ收入ガ潤澤ニアッテ、初メテ其人達ノ擔稅ノ能力ガ實際ニ生ジテ來ル、然ルニ御承知ノ通り今日ハ地方ニ於テ山林等ヲ持ッテ居ル豪家ハ却テ是ガ爲ニ困ッテ居ルト云フヤウナ狀態デ、之ニ對シテ所得稅ノ率ヲ増シテ行クト云フコトハ、其餘地ガ彼等ニハ無イノデアリマス、之ヲ負擔スル餘地ガ無イト云フ情勢デアリマス、營業稅モ其通りデアリマス、段々減リツツアル、此上營業稅ヲ重クスルト云フコトハ却テ彼

等ノ生業ヲ弱ラセル、萎縮サセル、之ヲ助長スルト云フ途ニハナラス、ソレ故先ヅ根本トシテハ産業ノ助長ヲ圖ッテ、國民全體ノ收入ヲ殖ヤシテ行ク、サウシテ初メテソコニ増稅ヲ致シテモ差支ナイト云フ餘裕ガ國民ノ懷ロニ生ズル、又今後農商工ノ産業ニ利益ノアルヤウナ結果ヲ來スヤウニナリマスレバ、從來ノ諸稅ガ今日減ジツツアルケレドモ、矢張り増加シテ行ク、此儘ニシテ矢張増加シテ行クト云フ望ミモアルノデアリマス、結局増稅ノコトハ考ヘテハ見テモ、今日之ヲ實行スル時機ニアラズ、國民ノ生業ノ利益ガ起ルヤウニナッテ、初メテソコニ増稅ノ餘地ヲ生ズルデアラウ、斯ウ考ヘテ居ル、ソレカラ又政費ノ節約、政費ノ節約ト申スレバ、政府ノ仕事ヲ縮メル、又一方ニ於テハ官吏ノ俸給ヲ減ズル、是以テ今日實行ノ出來ナイ情勢ニアルト考ヘルノミナラズ、一般ノ希望シテ居ル通り、農村ノ疲弊ヲ救ヒ、否ナ農商工共ニ進ンデ其營業ヲ助長シテ行クト云フ方ニ誘フニ付キマシテハ、又一方失業者ヲ無クナスト云フ方面カラ考ヘテ見マシテモ、此政府事業ヲ擴メテ行ク、或ハ地方ノ産業組合、信用組合、ソレ等ノ融通ヲ圓滿ニシテヤル、皆政府ガ進ンデ此際力ヲ盡シ、財ヲ用キテ行クト云フ

必要ガ目前ニ生ジテ居ル、政府ノ仕事ガ殖エレバ人ヲ減ラス譯ニモ行カズ、又今日減俸問題ハ既ニモウアリマシタガ、隨分是ハムヅカシイ問題デ、支障ヲ生ズルコトハ明カデアリマス、如何ニ赤字公債ヲ無クナスヤウニシタイト思ヒマシテモ、國情ガ今日外ノ國トハ違ッテ、滿洲ノ問題ト云ヒ、マダドウシテモ人モ餘計要ルヤウニナリ、金モ餘計要ルヤウニナルト云フ趨勢ニアル、併ナガラ何時デモ赤字公債サヘ出セバ宜イト云ッテ、政府ガ一日モ早く此赤字公債ノナイヤウニシヤウト云フ一方ニ於テ、其注意ト努力ヲジテ、放漫ニナッテハイカナインデスカラ、サウ云フコトハ毛頭ナイノデアリマス、今年度七年度ノ追加豫算ニ付キマシテモ、各省カラノ請求ハ可ナリ多額ナ請求ガアル、ソレガ多ケレバ多イ程赤字公債ガ殖エル譯ナノデス、ソレ故ニ緊急已ムヲ得ズト云フモノヲ認メテ大分査定ヲシタノデアリマスガ、其結果矢張り豫算ニ現ハレテ居ル通り、少カラヌ歳入不足ヲ見ルヤウナ次第デアリマス、從來ノ政費ヲ節約シテ行クコトモ、現在ノ政費ヲ節約シテ行クコトモ、其出來得ル所ハ無論節約ハシテ行カケレバナリマセヌガ、ソレヨリ今後ノ必要トスル政費ヲ無駄ノナイヤウニ査定ヲシマシテ

モ、是ハ減ルト云フ考ヘハ私ニハ起ラヌノデアリマス、是ハ國ノ勢ヒ、外國ニシテ見レバ或ハ減俸ヲ行ヒ、或ハ諸官省ノ改革ヲヤッテ人ヲ減ラス、或ハ増稅ヲスルト云フヤウナコトデ、頻リニ此赤字公債ヲ埋メルコトニ努力シテ居リマス、デ、彼國ニ於ケル赤字公債ト我國ニ於ケル赤字公債トハ少シク其趣ヲ異ニシテ居ル、英米ノ如キハ赤字公債ガ出ルト云フコトハ他國ノ資本ノ出入ニ關シマス、即チ其國ノ信用ニ關スル、殊ニ英國ノ如キハ早く舊ノ通り世界ノ貿易ノ決済市ニ再ビ倫敦ヲ建直サムトシテ、亞米利加ノ金ノ出ルノヲ好イ機會トシテ、今日非常ニソコニ努力シテ居ル、世界的ノ關係ガ重モナル理由トシテ、少シデモ赤字公債ノ出ナイヤウニト云フコトヲ努力スル必要ガ我國以上ニアル、我國ハ赤字ガ出タカラト言ッテ、外國ノ資本ガ日本ニ這人ッテ居ッタノガ出テ行クト云フヤウナ憂ハナイ、モウ大分持出シテ行ッテシマヒ、外國ノ信用ヲ失フガ爲ニ外國カラ這入ッテ居ッタ資本ガ皆出テ行ッテシマウト云フ憂ガナイ、又外國カラ始終日本ニ金ヲ持ッテ來テ安全ニ運用スルト云フ國柄デナカッタカラ其期待モ先ヅスル必要ハナイ、英米ノ如キ國ト日本トハ同ジク赤字公債ハ良ク

ナイコトデアルケレドモ其影響ハサウ云フ
大イナル違ヒガアルノデアリマスカラシテ
我國トシテハ彼等ノ如ク此赤字公債ヲ一日
モ置クコト相成ラヌト云フヤウナ必要ニハ
迫ラレテハ居フス、故ニ國民ノ擔稅能力ヲ
常ニ考ヘテ、國民ノ產業ヲ萎縮セシメザル
ヤウ、之ヲ防遏抑制シナイ範圍ニ於テ増稅
ヲ爲シ得ル時ニ之ヲスル、又政費ノ節約モ
出來得ル限りハモウ何時ト言ハズ毎年毎
年政費ト云フモノハ無駄ノナイヤウニ使ハ
ネバハ相成ラヌノデアリマス、是ハ常ニ
此事ハ考ヘテ置カナケレバナラヌ、併シ又
加藤君ノ御考デスウ云フ問題ヲ一ツ改メタ
ナラバ、是ダケノ政費ノ節減ガ出來テ而モ
ソレガ我國ノ今日ノ産業經濟ノ狀況ニ惡イ
影響ガナクテ宜イデヤナイカト云フヤウナ
事柄ガアリマスレバ、私ハ喜ンデ御聽キシ
タイト思フ、ソレカラ米穀法ノ如キ、或ハ
滯貨生絲ノ處分ノ如キ、過去ノコトニ屬ス
ト雖モ、私モ米穀法ガ是ガ今日誠ニ良イ法
ダトハ思フテ居リマセヌ、是デハイカヌト思
ヒマス、併シ米穀法ヲ現政府ガ、是ハ所管外
デアリマスケレドモ、當局者モ是デハイカ
ヌト云フ考ヲ有テ居ラレノデアリマス
カラ、何レハ改正ヲセネバナラヌ、御存
ジノ通り米穀法ナドト云フモノガ、近頃下

ウシテモ一億二三千萬圓ノ國庫ノ損失ト
ナテ、ソレダケノ國庫ガ損ヲシテ、米穀法
ガ如何ニ働イタカト云フト、米價ノ安定モ
出來ズ、農家ヲ安心サセルト云フ結果ヲモ
得ザル今日ノ狀態デスカラシテ、是ハ捨テ
テ置ケナイ理窟デアリマセウ、又生絲ノ如
キモ既ニ之ヲ處分シテ少カラヌ負擔ヲ國民
ガシナケレバナリマセヌ、併シ此堆積シテ
居ル生絲ヲ處分シテ、將來ノ我生絲ノ市場
ニ此壓迫ヲ取テ除クノガ前途我ガ養蠶製
絲ノ上ニ必要ナリト認メマシタ以上ハ已ム
ヲ得ヌ、是モ一時莫大ナ負擔ヲ國ガ背負
テ其負擔ヲ取除クト云フコトニナッタノデ
アリマス、是等モ一體元カラノ政策ガ……
政治ノヤリ方ガ惡イカラスウナッタノゴト
仰セニナレバ誠ニ其通りデアリマス、併シ
過去ノコトヲ過チデアッタカラト云ッテ、是
ハ將來ノ施政ノ上ニ參考トハナリマスル
ガ、是ガ是迄ノヤリ方ガ惡カッタカラト言
テ、今後ノヤリ方モ惡イノダト云フコトヲ
言フ譯ニモ行キマセヌ、斯ウ云フコトガ既
ニアッタノダカラ再ビ斯ウ云フコトノナイ
ヤウニ、今後ノ政策ハ弊害ヲ無クスルヤウ
ナコトニ注意ヲスルト云フ參考ニハナル、
總理大臣ト私トノ意見ハ決シテ相違ヲシテ
居リマセヌ、私ガ赤字公債ト云フモノヲ平

氣デ出シテ居ルト云フヤウナ御考ガアラレ
ルナラバ、ソレハ間違デアリマス、矢張り
私トシテモ出來ルダケ早く、出來得ル限り
努力シテ此赤字公債ヲ無クシタイト云フコ
トハ常ニ頭ヲ離レナイノデアリマス、併シ
國勢ガドウモ今日ノ有様デハ八年度ニ於テ
必ズ無クシマスと云フコトヲ斷言スルダケ
ノ信念ガ私ニハナイノデアリマス、遺憾ナ
ガラハ一年掛カルカ二年掛カルカ分ラヌ
ト考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス
○加藤政之助君 只今大藏大臣ノ御懇切ナ
ル御答デ御趣意ノアル所ハ稍、了解イタシ
マシタガ、併シ大藏大臣ノ御意思ハ收支ノ
權衡ヲ保ツガ爲ニハ増稅ノ節約デアアル、併
シ此増稅ナルモノハ今日ノ經濟界ノ現狀ニ
於テハ實行ハ無理デアルト思フカラソレガ
出來ナイ、但シ産業ヲ助長シテ、サウシテ
收入ヲ増スコトニ努メル、ソレカラ政費ノ
節約ハ常ニ是ハセヌナラヌコトデアルカラ
出來ル限り、意ヲ其點ニ用キルト斯ウ云フ
コトデアルト了解シテ差支ナイモノデス
カ、ソレヲ今一應承リタイ
○國務大臣(高橋是清君) 其通りデ……
○加藤政之助君 サウデアリマスルト、只
今ノ點ハ私ノ考ヘト必ズ合致シテ居リマセ
ヌケレドモ、政府ノ御意思ノアル所ハソコ

ダト其御意思ヲ伺ヘバ、ソレデ満足シナケ
レバナラヌ、ソレカラ次ニモウ一ツ御尋ネ
シテ見イタト思ヒマスノハ、是ハ公債ノ萬
分ノ百十六ヲ償還スルト云フコトノ規定デ
アル、ソレヲ此度ハ法律ヲ設ケテ三分ノ一
ハ繼續スルガ三分ノ二ハ繼續シナイ、其金
額ハ四千七百餘萬圓デアアルヤウデ、ソレカ
ラ一般會計カラ繰入減ニナリマスノハ二千
九百五十餘萬圓、特別會計カラ繰入ニナリ
マスノガ千六百五十五萬圓、斯ウ云フコト
デアリマス、成程今日ハマダ昨日、一昨日
デシタカ、私ノ要求シタ參考ノ書類ヲ大藏
當局ガ御廻シ下サイマセヌカラ、私ガ判定
ニ甚タ苦シム、是ハ甚ダ大藏當局者トシテ
私ハ無責任デハナイカト思フ、今日此會議
ガアル爲ニ其參考ニ必要デアレバコソ御質
問申シタ、然ルニ私ニハマダ手ニ入ッテ居リ
マセヌガ、兎ニ角今日ハ赤字公債ガ極メテ
多イ、又軍事費ガ要ル譯デアリマスカラ、
七億前後ノ公債ヲ募集スルト云フコトノ結
果ニナルデアラウト思ヒマス、果シテ左様
デアルト致シマスルナラバ、此四千七百萬
圓ト云フモノハ極メテ比較的少額デアリマ
ス、ソレデ私ハ此四千七百萬圓ノ金ヲ減ジ
タカラト云ッテ、ソレガ爲メ大キニ財政上ニ
非常ナル餘裕ヲ生ズル譯デハナイ、一體七

億募ルモノ四千萬圓募ルモノ格別ノ響キ、

差異ハナイト思フノデアリマス、要スルニ

日本政府ハ豫定ノ國債ハ豫定ノ通りニ必ズ

返ヘスノデアアル、又内國債ニ對シテモ募債

ハスルガ、其金ハ豫定ノ通り元利共ニ直グ

ニ償還スルノダ、斯ウ云フコトナッテ此

内外債ノ信用ガ外國ニモアリ日本ニモアル

ト云フノデアラウト思フ、必ズ募債ノ金額

ノ少シバカリノ其差異ト云フモノハ問題デ

ハナイト思フ、サレバ萬分ノ百十六ト云フ

過去ノ規定ハ其儘御支拂ニナッテ不足ノ分

ハ公債ヲ募集スルト云フ方針ヲ御執リニナ

ル方ガ宜イノデアリマス、或ハ個人ノ場合

ニ付テ申シマシテモ、借金ヲシタモノガ其

借金ヲ豫定ノ通り元利共返ヘス、斯ウ言ヘ

バ其人ノ信用ガアルカラ、次ニ多少餘計ノ

金ノ融通ヲ求メテモ其融通ニモ債權者ハ應

ズルノデアリマス、ソレト同様ノ理窟デア

リマスカラ、此場合萬分ノ百十六ノ償還ト

云フ過去永イ間實行シ來タ此法律マデ改

メテ僅ニ四千七百萬圓ノ此支拂ヲ減ジテ、

サウシテ餘裕ヲ付ケルト云フコトハ、却テ

我國ノ公債ノ内外ニ對スル信用ヲ失墜スル

原因デヤナイカ、斯ウ私ハ私個人トシテ推

定ヲスルノデアリマスガ、當局者ハ此點ヲ

如何ニ御考ニナッテ居ルカト云フコトヲ伺

ヒタイノデアリマス

○國務大臣(高橋是清君) 成程國ガ公債ヲ

發行シテ置イテ、此償還計畫ノ樹ッテ居ラヌ

ト云フコトハ其國ノ信用ヲ傷ツケルコトハ

多大ナルモノデアリマス、ソレ故ニ外國ニ

對シテハ其信用ヲ失ハザルガ爲ニ、外國ニ

對シテノ元利支拂ノ用意ハ此減債基金ノ中

ニ殘シテ居ル部分デ賄ッテ行ケルノデアリ

マス、四千何百萬圓ト云フノハ主トシテ自

由ニ使ヘル此特別會計ノ資金デアアル、此自

由ニ使ヘルト云フノハ、政府ガ公債ノ値ガ

下ッタ時分ニ從來ノ市場カラ公債ヲ買取り、

或ハ公債ヲ發行スル、新ニ公債ヲ發行ス

ル、或ハ借換ヲスルト云フ場合ニ於テ、政

府ニ餘リ不利益ニナラヌヤウニ、其時ノ公

債ノ市價ヲ一時支ヘルガ爲ニ市場ニ買ヒニ

出ルト云フヤウナコトニ用キラレテ居タ

ノガ自由ニ使用シ得ル減債基金ノ部分デア

ル、デ當局ノ考ヘマス所デハ、此際成ルベ

ク新ニ出ス公債ノ少ナイ方ガ宜シイ、從來

既ニ出シタ公債ヲ減ラスト云フヨリハ成ル

ベク新ニ出ル公債ヲ少シデモ殖ヤサナイヤ

ウニスルコトガ公債ニ對スル國民ノ信用ヲ

維持スル所以ナリト考ヘル、殊ニ今日ノ如

ク滿洲事件費等ニ付テ莫大ナル豫想外ノ公

債ガ出ルノデアリマス、此公債ノ高ガズン

ズン殖エテ行キマスカラ、此公債ノ殖エル

ニ從テノ利息ダケハ矢張り一般會計ニ年

年歳出ノ上ニ一時ニ見積ッテ行カネバナラ

ヌカラ、寧ロ此減債基金法ト云フモノハ他

日新タナル基礎ニ於テ改メル必要ガ當然ア

ルノデアリマス、減債基金ノ起リハ御承知

デモアリマセウガ、日露戰爭ノ時ノ費用ヲ

三十年間デ償却スルト云フノガ主ナル目的

デアッタト思ヒマス、然ルニ戰争後一時景氣

モ好カッタ爲ニ存外此政府ノ歳入ハ常ニ多

イ時ニハ二億以上、少クテモ一億以上ノ豫

算外ノ收入ガ殖エテ居ッタ、從テ剩餘金モ澤

山出ルト云フヤウナ狀態デアッタ、ソレデ減

債基金ハ初メハ三萬圓ト見積ッタガ、ソレ

ガ段々餘ッテ來タ爲ニ漸次其償還方法ヲ改

メテ出來タノガ今日ノ萬分ノ百十六ト云フ

コトニ極メデアリマス、今後ハ又此財政經

濟ノ安定シタ時ニ更ニ此減債基金ノ方法ト

云フモノハ改メテ設ケネバナラスト考ヘテ

居ル、今ノ所デハ唯御意見ト異ナル點ハ減

債基金ヲ一部減ラサズニ是デ以テ矢張り公

債ヲ返ヘスモノハ返ヘス、ソレガ爲ニ一方

ニ於テ不足ガ生ズレバ更ニ公債ヲ増發シタ

方ガ宜カラウト云フ御意見ガ、ソコガ私ノ

考ト違フノデス、新ニ出ス公債ヲ成ルベク

殖ヤシタクナイ、既設ノ公債、既發ノ公債

ハソレノ皆落付イテ居ル所ニ落付イテシ

マッテ居ル、ソレ故ニ新ニ出ルモノハ少クス

ル方ガ公債ノ方ニ對スル信用ヲ維持スル所

以ナリト考ヘテ居ル、其點ガ御意見ト違フ

所ト考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤敏之助君 御説明ヲ承ッタノデアリ

マスガ、私トシテ考ヘテ見マス、只今大

藏大臣ノ御話ノ通りニ、現ニ赤字ガ數億圓

アル、滿洲事件ハ尙ホ今後ドウナルカ分リマ

セヌガ、此普通ノ財政上ノ觀念カラ言ッテモ

收支ノ均衡ハ寧ロ赤字ガ將來増スト云フ方

ノ心配ガアルノデアリマス、故ニ公債ハ漸次

今日ヨリヨリ以上ノ私ハ募債シナケレバナラ

ヌト云フ事實ニ到著シハセヌカト思フノデ

アリマス、公債ヲ前途漸次減ズルト云フコ

トハ今ノ狀況デハムヅカシイ、國運ガ進歩

スレバ進歩スルニ從ッテ經費ガ増シ、而シテ歳

入ガ増サヌト云フ譯デ矢張り公債ヲ募集シ

テ多ク増加スル外仕方ガナイ、其場合ニ償

還ノ交付方法ヲ根本的ニ變ヘルト云フコト

デアルナラバソレハ或ハ必要ガアリマセウ、

ケレドモサウデナク僅ニ今迄ノ通り萬分ノ

百十六ト云フ償還スベキ金額、是ハ内外ト

モ公知ノ事實デアアル、日本政府ガ公債ヲ募

レバ是ダケハ必ズ償還スルト云フコトハ公

知ノ事實デアアル、ソレヲ實行シテ初メテ公

債ニ信用ガアルノデアリマス、私ハ前途漸次ニ公債ノ募集ガ増加シテモソレハ其方ガ止ムヲ得ヌガ、其償還ノ途ダケハ依然トシテ少シモ動カサスト云フ方ガ宜イノデハナイカト思フ、更ニ新法案ヲ御提出ニナレバ……是ハマア私ノ考デアリマス、私ハ左様ニ思フノデアリマス、併シ是ハ當局者ト意見ノ相違デアリマス、此意見ノ相違ヲ此處ニ爭フタ所ガ無益デアリマス、本員ハ此程度デ質問ヲ止メテ置キマス

○委員長(子爵前田利定君) 大藏大臣ノ御出席中ニ成ルベク大藏大臣ニ對スル質問ヲ完了イタシタイト考ヘテ居リマスカラ大藏大臣ニ對シマシテ、御質問ノアル方ハ此際願ヒタイト思ヒマス、案ハドノ案デモ宜シウゴザイマス

○男爵菊池武夫君 今度ノ公債ノ何ニハ滿洲ニ對シテ何カ施設サレルト云フヤウナ御考ノ何カ片鱗ガ何處ニモ現ハレテ居ラヌノデアリマス、例ヘバ陸軍ノ豫算内ニ於テ、新聞デ見マスト軍司令部ノ移轉ガ行ハレルトカ云フヤウナコトガ書イテゴザイマスルガ、サウ云フヤウナ滿洲經營ニ關スル一端ガ現ハレテ居ルノデアルカドウカ、之ヲ承ハリタイ

○國務大臣(高橋是清君) 滿洲ニ對シテハ

只今ノ所デハ關係ノ外務省ナリ、關東廳、陸軍省、海軍省、拓務省、此方面カラ請求シテアルモノヲ擧ゲテアルノデアリマシテ、今後新ニ何カ施設ガアルトカ云フヤウナコトニ付テハマダ一向私聞イテ居リマセヌ

○男爵菊池武夫君 將來此色ミナ、赤字問題等ガゴザイマスルガ、日本ノ重要生産力ト云フヤウナモノガ今マア非常ニアルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ活カシテ失業ヲ救済サレルト云フヤウナコト、新國家ニ對スル日本ノ經濟關係ニ於キマシテ何カ根本的ニ日滿兩國ノ間ニ一トカタマリニナシタ經濟的ノ大打撃變ヘノ御方針ト云フヤウナモノガ今日カラナイナラバ、何時迄モ此日本ノ經濟狀態ガ本當ニ確立スルト云フ譯ニ參ラヌノデアルカラ、思ヒ切ッテ、濟シ崩シデナク、大々的ニ公債ヲ起シ、將來ノ經濟ノ御方針ヲ御立テニナッテ御進ミニナルト云フヤウナコトガ、今日カラ現ハレヌト云フヤウナコトガ如何ニモ心細ク感ゼラレルノデアリマス

○國務大臣(高橋是清君) ソレハ私カラ御答ヲ致スト云フコトハ、私十分ニサウ云フコトヲ研究シテ居リマセヌカラシテ、寧ロ外務、陸軍ノ方ニ若シサウ云フ計畫ガアル

ナラバ發表ガ出來ルカ出來ナイカ分リマセヌケレドモ、私以上ニサウ云フコトハ考ガ熱シテ居ルダラウト思ヒマス、而シテ今御話ノ經濟上、滿洲新國家ト云フモノハ朝鮮ト同様ニ一ツノ「ブロック」デアル、是ハ新聞デ私ハ見ルダケデアル、ソレデ滿洲新國家ト云フモノガ出來マシテモ矢張りアレハ外國デアル、シテ見ルト他ノ國際間ノ關係等モ同様複雑シタ問題ガアルモノト私ハ想像イタシマス、日本ト滿洲ト一ツノ經濟ニスルト云フコトハ色ミ斯ウ云フ點ニ於テ理想的ニハ實行ノ出來ナイコトモ多クアラウト思ヒマス、滿洲國家ノ爲ニ日本ガ國トシテ金ヲ使フト云フコトハ今ノ土匪、兵匪等ヲ掃蕩シテ滿洲、滿蒙ヲ平和ノ地ニシ安住ノ地ニスル、サウシテ獨リ我ガ國民、支那人ノミナラズ世界各國何レノ人デモ豫ネテ政府ガ聲明シテ居ル通り機會均等ト云フ基礎ノ上ニ於テ生命財產ガ安全ニ保持サレルト云フコトガ目的ダラウト斯ウ考ヘマス、ソレガ爲ニ今日日本政府トシテ金ヲ費ス所ハ只今申上ゲタ關係省ノ請求ニ依ル費用ニ止マルコトデアラウト思ヒマス、其他ノコトハ民間ノ人ガ行テ事業ヲ營ムト云フヤウナコトハ、是ハ政府ノ支出ニ待タズニ、民間デヤレルコトデアリマセウ、只今ノトコロ

豫算關係カラ申シテ、政府ガ支出スル點ハ今ノ關係省ヨリ申出タル事柄ニ過ギナイ、大々的ニヤルト云フコトモ、私ハドウ云フ御趣意カ分リマセヌガ、是ハ唯金バカリデ行ク問題デナイト、私ハ素人ナガラ其邊ハ考ヘテ居リマス、是ハ私ガ御答ヘスルヨリハ、寧ロ外務或ハ陸軍ノ當局カラ御答ヲシタ方ガ御満足ナ御答ガ出來ハセヌカト考ヘマス

○委員長(子爵前田利定君) ソレデ宜シウゴザイマス、……御質疑ガチヨット途絶エテ居ルヤウデアリマスガ、此際諸君ニ御諮リヲ申シタイトハ、委員外デアラレマスケレドモ、松本丞治君ガ國債ノ價額計算ニ關スル法律案ニ付テ質疑ヲ爲サレタイト云フ御申出ガアリマシタガ、御許シシマシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 御異存ナイモノト認メマス、松本君宜シウゴザイマス

○委員外議員(松本丞治君) 私ハ只今委員長ノ御許シヲ得マシテ、國債ノ價額計算ニ關スル法律案、此案ニ付キマシテ二三御質問イタシタイ、其意味ハ、此案ハ極メテ短カイ法律案デハゴザリマスルガ、商法第二十條ニ對シマスル一大例外ヲ爲ス問題デア

リマシテ、此商法第二十六條ノ評價ニ關スル規定ハ御承知ノ通り、商法中ノ最重要ナル規程デアリマス、之ニ對シテ一大例外ヲ開クト云フニ付キマシテハ、相當慎重ニ考ヘルベキ必要ガアラウカト考ヘマス、其意味ニ於テ極メテ法律的ノコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、從テ大藏大臣ニハ別ニ伺フコトハ何等ナイノデアリマス、其伺ヒマスルコトノ先ヅ前提トシテ、標準發行價格デアリマス、此意味ヲ第一ニ伺フテ見タイノデアリマス、是ハ恐ラクハ御説明ガ既ニアッタコトカ知レマセスガ、未ダ此委員會ノ速記録ガ配付サレテ居リマセヌノデ、此點ニ付テ簡單ニ御説明ヲ願ヒマシテカラ、主トシテ伺ヒタイ法ノ問題ニ入リタイト思ヒマス

○政府委員(富田勇太郎君) 標準發行價格ノ意味デアリマスガ、是ハ若シ公債ノ發行ノ場合ニ於キマシテハ違フ公債ハ總テ異タ發行價格ニ依ルト云フナラバ、標準發行價格ト云フ特定ノ價格ヲ極メナイデモ宜イ譯デアリマスガ、發行ノ價格ニ付テ同ジ公債即チ利率トカ、期限、記號、全ク同ジ公債ヲ數回ニ分ケテ發行スル場合ガゴザイマス、其場合ニ、其時ノ市場ノ狀況ニ依リマシテ、發行價格ニモ違フノガアルノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ同ジ記號ノ

公債ニ付キマシテハ多數ノ發行價格ヲ平均シマシテ、ソレヲ標準發行價格ト云フコトニシテ、大藏大臣ガ特ニ之ヲ告示スルト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレトモウ一ツハ交付公債ト云フノガアリマシテ、交付公債ハ特價ヲ交付スル場合モアリマスケレドモ、額面デ以テ詰リ百圓ノ價格ヲ交付スル場合ガ澤山アリマスカラ、サウ云フ場合ニハ發行價格トシテ百圓ト云フコトハ不穩當デアリマスカラ、サウ云フ公債ニ付テハ類似ノ公債ノ發行價格ヲ取リマシテ、ソレヲ以テ標準發行トスル、斯ウ云フコトニ致シタ譯デアリマス

○委員外議員(松本泰治君) サウナリマスト、例ヘバ償還期限ガ大體ニ於テ全ク同ジ所ヘ行テ居ル、利廻リ計算モ全ク同ジニナル、通常ナラバ同ジヤウナ時價ガ出テ來ベキ公債ニ於キマシテモ、或モノハ發行ノ時ノ事情カラ九十五圓ニナリ、或モノハ八十五圓ニナルト云フヤウナ、大變相違ガ出マスノデアラウカト思ヒマスガ、商法上ノ財産評價ノ基準ニナリマスモノニ付キマシテハ、全ク同ジヤウナモノガ大變ニ違フ價格ヲ定メ得ルト云フコトニナリマスルノハ甚ダオカシク考ヘラレマスガ、左様ニナルト承知シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(富田勇太郎君) 只今ノ御質問ハ標準發行價格ニ依ル爲ニ僅ニ償還期限ノ違フテ居ルヤウナ公債デモ、發行ノ時期ニ依ッテ非常ニ標準發行價格ニ違ヒガアル、サウ云フノハ不都合デヤナイカト云フ點デアリマス、是ハ全ク御説ノ通りデアリマシテ、發行價格ニ依リマスル爲ニ、只今仰セノヤウナ缺點ガアルノデアリマス、併ナガラ今度ノ國債優遇ノ案ハ、公債ヲ持チマシテ、ソレヲ償還ニ到ル迄利息ノ爲ニ持ッテ居ルナラバ、此時價ニ依ッテ必ズシモ償却ヲセヌデモ宜カラウ、然ラバドウ云フ價格デ記帳スルカト云ヘバ、ソレニハ種々ノ方法モアリマスケレドモ、先ヅ發行價格ト云フモノハ發行當時ノ市況ニ照ラシテ、先ヅ適當ナル價格デアルト云フコトニ見ル外アリマセヌカラ、其前提ノ下ニ先ヅ發行價格ニ依ルト云フコトニ致シタノデアリマス、サウシテ發行價格ニ依ッテ記帳シマシテ、サウシテソレヲ額面デ償還サレルマデ持ッテ居レバ何等不都合ハナイ譯デアリマス、發行價格ト云フモノハ決シテ之ヲ最良ノ、缺點ノナイ標準價格トハ存ジマセヌケレドモ、他ニヨリ良キ標準ガアリマセヌカラ、先ヅ之ニ依ルト云フコトニ致シタ譯デアリマス

○委員外議員(松本泰治君) 只今ノ御説明

デ趣旨ハ能ク分リマシタガ、是ハ只今伺フト交付公債ノ如キ場合ニハ他ノ類似ノ償還期限、利率等ノモノヲ參照シテ、ソレニ依ッテ、寧ロ發行價格ヲ別ニ定メルト云フヤウナ御説明モアッタノデアリマスルガ、左様ナ御趣意カラ、モウ少シ之ヲ擴メマスルト、償還期限及ビ利廻リヲ標準トシテ、何カ一般的ニ發行價格ノミヲ標準トシナイモノガ定メラレ得ルカト私ハ考ヘルノデアリマスカ、併シ此點ハ商法ニ直接ニ餘リ大キナ關係モナイノデアリマスカラ、是ハソレダケニ致シマシテ、次ニ主トシテ伺ヒタイト思ヒマシタコトニ這入リマス、ソレガ二ツアルノデアリマス、先ヅ第一ノコトニ付テ伺ヒタイノデアリマス、是ハ此特例ニ依リマシテ、標準發行價格ニ依ッテ評價ヲシマシタ會社ガアルト假定イタシマス、此會社ガ利益配當ヲ致スト云フ場合ニ、何等制限ヲ定メナイコトニ法律デハナルヤウデアリマス、ソレハソレデ宜シイノデアアルカドウカト云フコトデアリマス、即チ此特例ハ恐ラクハ已ヲ得ザルニ出デタ所ノ眞ニ特例デアラウト思フノデアリマス、現ニ此近クニ於キマシテ、大銀行ガ公債ヲ主トシタ所ノ有價證券ノ價格下落ノ爲ニ、各數百萬圓ノ缺損ヲ出シマシタ、サウシテ之ヲ積立金ノ支出等

ニ依テ填補シタ例ヲ見タノデアリマス、斯

ノ如キコトガ行ハレマスコトハ、大變是ハ困ルコトデアラウ、即チ公債ガ、時價ガ下リマシタコトノ爲ニ、非常ニ大キナ缺損ガ出テ參ッテ、之ヲ填補シナケレバナラスト云フヤウナコトハ、是ハ非常ナ豐ナ大銀行等ハ堪ヘ得ルコトデアラウカモ知レマセヌガ、堪ヘ得ラレナイモノハ、澤山アラウ、サウ云フモノニ對シテ考ヘマスレバ、公債時價ノ變動ノ爲ニ非常ナ損失缺損ヲ生ジタヤウナ時ニハ、ソレヲ生ジナイヤウニスルト云フ程度マデハ私ハ大變理窟ガアラウト思フ、此意味ニ於テハ、此法律案ノ御趣意モ宜カラウト思ヒマスガ、更ニ一步ヲ進メテ假ニサウ云フ公債時價ハ非常ニ下ッテ居ル、併シ幸ニシテ標準發行價格ハ高イト云フ公債ヲ澤山持ッテ居ル所ノ會社ガアッテ、ソレヲ澤山持ッテ居ルガ故ニ、時價ノ上デ計算ヲ致シマスト大ナル缺損ヲ生ズル會社デハアルガ、標準價格ニ依ッテ計算ヲシタ結果利益ヲ生ジテ來ルト云フヤウナ會社ガ、其利益ヲ濫ニ配當シテシマフ、是ハ所謂配當ヲ公ニ認メルコトニナルノデアリマス、左様ナコトニナルノハ、聊カ不穩當ノヤウニ考ヘマスガ、左様ナコトヲ御認メニナル積リデ、是ハ立法ニナッタカドウカト云フコ

トヲ伺ヒタイモノデアリマス

○政府委員(長島毅君) チョット甚ダ、六法

全書ヲ持ッテ居リマセヌガ、是ハ大體大藏省ノ方カラモ御説明ニナッタコトヲ重複シテ申上ゲルヤウニナルカモ存ジマセヌガ、結局會社ガ營業ヲズット持續シテ行ケルモノト致シマスレバ、償還期ガ參リマスレバ、額面額デ償還ニナルト云フコトハ、是ハ確ニ決マッテ居ルコトデアリマスカラ、結局一時ノ損失ト云フヤウナコトハ眼中ニ置カナイデ、長ク間ヲ見テ行ク、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、唯是モ餘程解釋上ハ議論ガアッテ、能ク分ラヌコトデアリマスカ、私トシテハ破産ニナル場合、即チ破産ニナルカドウカト云フヤウナ標準ヲ極メル際ニハ、此特別法ニハ依ラナイト云フ大體私共ハ積リデ居リマスカラ、ソコデ利益配當ノ關係上丁度既ニソレガ破産ニナリ得ルト云フヤウナ、利益ヲ配當スレバ、破産ニナリ得ルヤウナ狀態デアレバ、是ハ此規定デ利益ガ出マシテモ、破産法ノ方デ利益ノ配當ガ出來マセヌ、配當ハイケナイコトニナリマス、ソレ以外ニ於キマシテハチヨト之ヲ認メタ以上ハ、ドノ程度マデノ利益ノ配當ヲシテ宜シイ、此規定ノ配當ガ出來ルニ拘ラズ、更ニ進ンデ或程度ノ制限ヲス

ルト云フヤウナコトハ、規定ノ上カラ稍、困

難ナルデモアリマセウシ、營業ヲ持續シ

テ行クト云フコトヲ根本觀念ニ置イタ關係上、餘リ顧慮イタシマセヌデシタ、御説ノ如ク斯ウ云フ際ノコトデアリマシテ、不完全カトモ存ジマシタケレドモ、大體此程度デ宜カナイカト云フノデ、斯ウ云フ風ニ致シタ次第デアリマス

○委員外議員(松本蒸治君) 破産ニナルカナラヌカト云フコトヲ決定スル場合ニハ、此規定ノ適用ガナイト云フ今御話デアリマスルガ、ソレハ何處カサウ云フコトガ出テ居リマスカ、ドウモ出テ居ラヌヤウニモ私ハ思フノデアリマス、破産ニナルカ否カト云フコトノ決定自體ニモ此規定ノ適用ハ私ハアルノデヤナイカト思ハレマスガ、其點モ伺ヒタイノデスガ、尙ホ一步ヲ進メマシテ假ニ破産ニナルヤ否ヤト云フコトノ決定ニハ此規定ノ適用ガナイト致シマシテモ、今申シマシタヤウニ公債ノ時價ハ非常ニ下ッテ居ル、ソレヲ償還期限マデ持ッテ居レバ大丈夫ダカラ宜イデヤナイカト仰シヤイマスケレドモ、會社ガ多數ノ、多額ノ公債ヲ持ッテ居リマスノニ、ソレヲ償還期限マデ唯癡カシテ持ッテ居ルト云フヤウナコトハ考ヘラレヌコト、勿論サウ云フ會社モアル

カモ知レマセヌガ、長イ何十年先キト云フ

ヤウナ償還期限マデ公債ヲ持ッテ居ルト云フコトハ考ヘラレヌコト、之ヲ換價シナケレバナラスト云フ問題ヲ生ジタトキハ、假令破産ニアラズト雖、直ニ非常ナル換價ヲスル結果ハ、非常ナル大キナ缺損ガ出テ來ルノデアリマス、左様ナ缺損ガ出テ來ルト云フコトガ分ッテ居ル、即チ此標準價格ニ依ッテノデアルト云フ場合ニ於キマシテ、尙ホ利益ノ配當ガ出來ルノデアルト云フコトハ、會社債權者ニ對シテハ實ニ危ナイコトデアアル、會社債權者ノ保護ト云フ點カラ申スト、マルデ「ゼロ」ニナッテシマウト私ハ思フ、利益ノ配當ニ制限ヲ加ヘナイト云フコトハ如何ニモオカシク考ヘマスノデ、問題ヲ變ヘテ伺ヒマスガ、例ヘバ大藏省御所管ノ銀行ナドニ於キマシテモ、此標準發行價格ニ依レバ利益ノ配當ハ出來ル、依ラザレバ配當ガ出來ナイト云フヤウナ場合ニ、尙ホ標準價格ニ依ッテ配當ヲスルコトヲ御認メニナル積リデアアルカ、ドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(富田勇太郎君) 此國債優遇ノ制度ハ大藏省ノ監督イタシテ居リマスル所ノ銀行ノ關係デアリマス、此法律問題ハ只今民事局長カラ御答シマシタ通りデアリマ

スガ、實際ノ監督關係ハ又別ニナツテ來ル
ト思フノデアリマス、此法人ノ中デ一番資
産ノ堅實ヲ要スルノハ銀行デアリマス、多
數ノ民衆ニモ利害關係ヲ持テ居リマスル
カラ、國債優遇ノ見地ヨリシテ、特ニ今度
ノ制度ヲ設ケマスルケレドモ、是ガ爲ニ銀
行ノ業態ヲ惡クシ、一般ノ民衆ニ迷惑ヲ來
タスト云フコトハ勿論是ハ避クルコトヲ要
スルノデアリマス、ソレデアリマスカラ本
法ノ規定ニ依リマシテ、銀行ト云フモノハ、
勿論公債ノ市價ノ下ツタ場合ニ於キマシテ
償却シマセヌデ、本法ノ許ス範圍ニ於テ償
却シマセヌデ、其利益ヲ配當ニ向ケルコト
ハ出來ナイコトハアリマセヌ、併ナガラ是
ハ大藏省ノ銀行監督ノ方面ニ於キマシテ、
サウ云フ場合ニハ出來ルダケ償却ヲサセマ
シテ、資産ノ堅實ヲ期スル譯デアリマス、即
チ本法ノ趣意ト云フモノハ、公債ノ市價ガ
非常ニ下ル、サウ云フ場合ニ於テハ利益ヲ
總テソレニ振り込ム、更ニ積立金ヲ毀シ、赤
字ヲ出シテモ尙ホサウ償却スルコトガ果シ
テ銀行ノ信用ノ上カラ言ッテ宜イカドウカ
ト云フ點デアリマス、即チ資産ノ狀態ハ惡
クナリマシテモ、銀行ガソレヲ直ス爲ニ配
當ヲ無クスル、或ハ積立金ヲ毀スト云フコ
トガ一般民衆ニ對シマシテ銀行ノ信用ヲ果

シテ良クスルカドウカト云フ點デアリマ
ス、銀行ハ多クノ場合ニ於テ證券會社ト違
ヒマシテ、買ヒマシタ公債ト云フモノハ大
體ニ於テ利息ノ爲ニ持ッテ居ルノデアリマ
ス、サウ始終買ハ致サヌノデアリマス、
大部分ト云フモノハ償還期マデ之ヲ持ッテ
居ル、勿論發行當時ニ豫約シタモノハ是ハ
勿論一般ニ賣リマスルケレドモ、自分ノ利
息、財産トシテ持ッテ居ル公債、是ハサウ始
終賣ルモノデアリマセヌカラ、寧ロ市價ガ
下ツタ場合ニハ其利益ノ限度ニ於テ之ヲ償
却スル、ソレ以上ニハ及バナイ、サウ云フ
方針デヤッテ參ル考ヘデアリマス、ソレデ此
本法ノ規定ニ依リマシテ、發行價格又ハ此
取得ノ時價ガ發行價格以下ノ場合ニ於テハ
其取得時價、ソレ以下ニハ償却セヌデモ宜イ
コトニナツテ居リマスルケレドモ、ソレハ償却
スルト云フコトハ一向差支ナイコトデア
ル、サウ云フ發行標準價格ニ餘力ヲ許ストシ
タノデアリマセヌカラ、銀行トシテハ成ルベ
ク此法律ヲ濫用シナイヤウニ致ス考ヘデア
リマス

○委員外議員(松本泰治君)

只今御述ベノ
コトハ之ヲ直接簡明ニ申セバ、銀行ニ於キ
マシテハ監督權ノ作用上、時價ガ非常ニ下
テ居ルヤウナ場合、時價ニ依レバ大ナル缺

損ヲ生ズルヤウナ場合、標準發行價格ニ
依レバ利益ノ配當ガ出來ルカモ知レヌ、
ト云フヤウナ時ニハ監督權ノ作用ニ依ッ
テ利益ノ配當ナドハサセナイ、ト云フヤウナ
御考ノヤウニ先ヅ伺ヒマシタ、サウアルベ
キコトト私ハ思フ、是ハ保險會社ナドニ於
テモサウデアリマス、デ私ハ此立法自體ハ
決シテ惡クハナイ、宜シイト思フ、唯銀行
トカ、保險會社ノ如キ行政官廳、監督權ノ
作用ニ依リマシテ、利益ノ配當ノ制限ノ出
來マスモノニハ宜シウゴザイマス、恐ラク
バ監督官廳ハ此特例ニ依ッテノ利益ノ配
當ガ出來ルト云フヤウナモノニ對シテ、利
益ノ配當ヲスルト云フヤウナ不堅實極マル
會社、債權者ヲ害スルノ虞レノ大ナルハ御
認メニナルマイト思フ、缺損ハ生ジナイコ
トニナルガ、又計算上ハ利益ガ出テ來テモ
配當ダケハサセナイト云フコトニシテ社内
ニ留保セシメテ、會社ノ債權者ノ保護ヲ御
圖リニナルト私ハ確ク信ジマス、併ナガラ
サウ云フ保護ノナイ一般會社ニ付テハドウ
デアアル、保護ノナイ一般會社ハ勝手ニドウ
モ利益ノ配當ガ出來ル、サウ云フ保護ノナ
イ一般會社ガ此特例ニ依ッテ無暗ニ利益配
當ヲシテシマウト云フコトニナルト實ニ由
々數キ大事、私ハ商法、會社法ノ上カラ見

マスト大變ナコトニ私ハナルコトヲ認メラ
ルコトト考ヘル、更ニ先程民事局長ハ破
産ノ場合ニ是ハ適用ガナイト云フ御話ガア
リマシタガ、成程破産ニナツテシマッタ時ハ、
換價ヲシヤウト思ッテモ時價、市價換價ハ
出來マセヌ、標準發行價格ト云フモノハ九
十圓、假令時價ガ八十圓デモ是非九十圓ニ
買ヘト言ッタ所デアリハナイ、換價ノ時ニ
適用ガナイコトハ勿論デアリマス、破産デ
アルカドウカト云フコトヲ見ル爲ニハ、矢張
リ私ハ是ハ何ニモ例外ガ書イテナイ所カラ
見ルト適用ガアルノデヤナイカト思フ、ソ
レガ適用ガアルト云フコトニナツテハ是モ
大事件デナカラウカ、本當ノ計算即チ時價
額ト云フモノカラ言ヘバ立派ナ破産會社デ
アル、非常ナ巨額ナ、ドウ云フ譯カ知ラヌ
ケレドモ巨額ナ公債ヲ持ッテ、其公債ノ値下
リ甚ダシキモノガアルカラ立派ナ破産會社
デアアル、然ルニ此特別規定ニ依ッテ助ケラ
レテ、破産會社デハアルノダケレドモ破産
サスコトモ出來ナイ、又或場合ニハ蝸配當
的ニ、其場合ニ利益勘定ガ出テ來レバ、利
益ヲ配當シテ行ッテモ宜シイト云フコトニ
ナリマシテハ、私ハドウモ随分大變ナコトノ
ヤウニ考ヘマス、此點ガ餘リ大變ナコトニ
ナルノデハナカラウカ、サウ考ヘタ爲ニ實

ハ特ニ御許シヲ得テ……私ハ質問ハ大嫌ヒデ、出來ルダケ質問ヲ致サヌヤウニシテ居ルノデアリマスガ、能ク此案ヲ拜見シテ大分是ハ心配ニナッタノデ、特ニ御許シヲ得テ實ハ質問ヲスル次第デアリマス、其點ヲ一ツドウナルノカダケハ明確ニ御知ラセヲ願ヒタイ、私ノ考デハ斯ウ云フ法律ハ勅令ヲ以テ此適用ノ範圍ヲ定メルコトニ致サレテ、必要ノアル、而シテ行政官廳ノ監督ノ出來ル會社ダケハ適用スル、少クトモ會社ダケニ付テハ勅令ヲ以テ適用ノ範圍ヲ定メルト云フコトニナスツナラバ、私ノ憂フルヤウナコトハ無クナッタと思フノデアリマス、ドウモ何等之ニ例外的ノ適用ノ範圍ノ制限ハナイヤウデアリマス、非常ニ私ハ憂慮スルノデ斯ク申ス次第デアリマスカラ、ドウゾ其點ニ付テドウデアルト云フコトノ御答ダケハ得テ置キタイと思フノデアリマス

○政府委員(長島毅君) 是ハ寧ロ法律適用

ノ範圍ヲ出テ居リマスカモ存ジマセヌシ、又私ハ能ク事情ヲ存ジマセヌカラ誤リヲ申上ゲルカモ知レマセヌガ、大體此銀行以外ノ事業會社デアリマス、此國債ヲ持ッテ居ル數ガ比較的少イノデヤナイカ、ソレカラモウ一ツハ國債ヲ一種類ノモノデ、財産

ニ非常ナ變化ヲ及ボスマデモ一種類ノ國債ヲ澤山持ッテ居ルト云フコトハナイ、順次ニ償還ガ來ルヤウナコトニナッテ居リハセヌカ、併シ是ハ私ノ想像デアリマシテ、統計モ何モ無クテ申上ゲルノデアリマスカラ、或ハ大キナ間違ヲ申上ゲルカモ知レマセヌガ、大體サウ云フヤウナコトヲ暗ニ腹ノ中ニ置キマシテ、銀行ヤ保險會社ノヤウニ澤山公債ヲ持ッテ居ルモノハ監督出來ルシ、其外ノ事業會社ノヤウナモノハ國債ヲ持ッテ居リマセウシ、又他ノ會社ノ株券ナドモ持ッテ居ル、ダカラ其償還期ノ來ル、國債ダケデ財産ニ非常ナ變化ガ來ルト云フコトハナイノデヤナイカト云フヤウナコトヲ漠然ト考ヘタ次第デアリマス、ソレト一方ニ於テハ現在ノ國債ノ價值ヲ保持スルト云フコトガ非常ニ急務ダト云フコトヲ考ヘマシテ、此程度デ宜クハナイカト云フ風ニ漠然ト考ヘタ次第デアリマス、ソレカラ破産ヲスルヤ否ヤノ條件トシテ之ヲ見ルカドウカト云フコトハ、實ハ私共非常ニ研究シマタシタノデスガ、能ク分リマセヌノデ、何レ是ハ御教示ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス

○委員外議員(松本恭治君) 只今ノ御答ダ

ト一般會社ニハ國債ダケヲ持ッテ居ルト云フヤウナモノハ甚ダ少イノダカラ、故ニ先

ヅ大シタ心配ハナカラウト云フ御話デス、私モサウ思ヒマス、銀行、會社、有價證券割賦販賣業者ト云フヤウナ特別ノモノヲ除イテハ、公債ヲ非常ニ澤山持ッテ居ルト云フモノハ實際ハ少イドラウト思ヒマス、併ナガラ法制上サウ云フモノハナイト云フコトハ勿論言ヘナイ、ノミナラズアリ得ル、又多分幾ラカハアルドラウト思フ、殊ニ財産保全的ノ會社ナドニハサウ云フモノハ大イニアリ得ルノデス、而シテ若シ其國債バカリヲ持ッテ居ルヤウナモノガナイト云フノナラバ、サウ云フ會社ニハ斯ウ云フ特例ヲ適用スル必要ハ毫モナイ、サウ云フ會社ハ困ラヌ、ダカラサウ云フ會社ニハ適用ヲシナイコトニスル、即チ國債ヲ澤山持ッテ居テ、此國債ノ時價ノ下落ニ依ッテ非常ニ困ルコトガアリ得ベキ種類ノ會社、幸ニ私ノ見ル所デハ、是ハ大體ニ於キマシテハ行政官廳ノ監督ノ下ニアル會社デアリマス、銀行、保險會社其他有價證券割賦業者ノ會社ト云フヤウナ種類ノモノガ多イノデアリマスカラ、勅令ヲ以テ制限サレテ、左様ナル國債ヲ澤山持ッテ居ル、從テ國債ノ時價下落ノ爲ニ非常ニ困ルヤウナ會社ニ限ッテ、之ヲ御適用ニナルコトハ大變宜イコトドラウト思ヒマスガ、又而シテ斯ノ如キ會社ニハ監督ガ

アリマスカラ、此規定ヲ濫用シテ利益ナキニ蝕配當ヲスルカ何トカ云フヤウナ問題ハ起リマセヌ、依テサウ云フ會社ニ御適用ニナルノハ宜カラウト思ヒマスガ、一般會社ニ之ヲ御適用ニナル結果ハ非常ニ危イコトニナル、成程サウ云フ會社ハ少イカモ知レヌ、其少イ所ノ例外的ニアルモノノ會社債權者カラ申シマスレバ、非常ニ危イコトデアリマス、而シテサウ云フ會社ハ只今モ一言シマシタヤウニ、財産ノ保全ノ爲ニ株式會社ナドハ此頃相當出來テ居リマス、サウ云フ會社ニハ隨分有リ得ルコトカトモ思フ、サウ云フ會社ハ時價ニ依ッテ計算スルト破産ニナッテ居ル、破産シテ早く處置ヲシナケレバナラヌモノヲ、此規定ノ結果トシテ破産ニモナラヌ、甚ダシキニ至ッテハ利益配當モ出來ルト云フヤウナコトニナッテハ實ニ危イ、サウ云フモノガ少イカラト云ッテ、此危イコトヲ默ッテ置ク譯ニハ私ハイクマイト思フ、而シテサウ云フモノガ一般會社ニハ甚ダ少イノデアルト云フナラバ、何ガ故ニ此特別ノ規定ヲサウ云フ一般會社ニマデ適用アルコトニ爲サツタカ、是ハ甚ダシキ矛盾デアルト私ハ思フ、而シテ破産ノ場合ニ此適用ガナイト云フコトハ、特ニ私ハ御書キニナラヌ以上ハ出テ來ナイト云フヤウニ

考ヘマス、併シ尙ホ是ハ私ノ意見ガマシク聞エタカモ知レマセヌガ、私ノ申シタコトニ誤リガアレバ御正シテ願フテ見タイト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) 是ハ御尤デ、一體サウ云フノガ少ナケレバ除イテモ宜イデヤナイカト云フ御議論ガ御尤デスガ、又反對ニ少イノダカラ勅令ヲ以テ茲ニ指定スルト云フヤウナ事ヲ致シマシテ、何カ勅令デ特殊ノ會社ヲ指定スルヤウナ風ニモ見エルト云フヤウナ風ノ規定ヲ設ケナイデモ宜イデヤナイカト、其ノ方ニモ議論ガ立チマスカラ、サウ云フ所ハ一ツ然ルベク……

○政府委員(富田勇太郎君) 此法律ノ適用ノ問題デハアリマセヌガ、國債ニ對シテ特別ノ優遇ヲ設ケルコトニ致シマシタ趣意ヲ、チョット申上ゲテ置イタ方ガ宜イデハナイカト考ヘマスガ、此有價證券ノ評價ノ方法ニ付キマシテ、公債ダケ何故斯カル優遇ヲスルカト云フ點デアリマス、是ガ普通ノ會社ノ債務デアリマス云フト、會社ノ業態ニ依リマシテ、ソレガ期限ニ至ッテ償還サレナイ場合ガゴザイマス、又其相場モ殆ド際限ナク變動イタシマス、併シ公債ハ此最大ノ國家ノ信用ヲ背景ニ致シテ居リマスカラ、公債ガ償還期ニ至ッテ返済サレナイ、支拂ハレナイト云フヤウナコトハ是ハマア想像ハ出來ナイト考ヘマス、果シテ然ラバ此公債ノ市價ト云フモノハ大體ノ時々ノ金利ノ利廻ト云フモノヲ標準ニシテ變動スル外ハ、普通ノ債券ノ如ク際限ナク變動スルト云フコトハナイヤウニ考ヘラレマス、サウシマスレバ銀行以外ノ法人デモ多數持ッテ居ルモノモアリマセウガ、サウ云フ會社ガ此市價ノ下ヲ際ニ於テ、其市價マデ非常ナ無理ヲシテ償却シマセヌデモ、暫ク時期ヲ見デ居リマスルナラバ、一時ノ事情デ市價ガ暴落シマシテモ、更ニ金利關係ナリ其他ノ關係デ、其内ニハ又平準ナ相場ニ恢復シマスカラ、ソレ迄待タサウ、サウ一時ニ償却セヌデモ宜シイ、其内ニハ平準ナ價格ニ恢復ヲスルカラ、ソレ迄待ッテモ宜シイト云フダケノ規定デアリマス、之ニ依ッテ當然ニ破産スベキモノガ破産セヌデ済ムト云フコトニハ相成ラヌト考ヘマス、即チ民事局長カラ申上ゲマシタヤウニ、マア規定ノ適否ハ別問題トシマシテ 此法律ハ破産ノ場合、即チ會社ガ資本ノ半額ヲ失ッタ場合デアルトカ、或ハ會社ノ財産ヲ以テ債務ノ完済出來ナイヤウナ場合、サウ云フ場合ハ本法適用外デアリマスカラ、ソレデ此法律ニ依リマシテ資産ノ實質カラ言ッテ、當然ニ破産ノ範圍ニ入り得ルモノガ、ソレヲ免レルト云フ、斯ウ云フ結果ニナラヌコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員外議員(松本滋治君) 只今大變斷定的ニ資本ノ半額ヲ失ッタカ否カ、或ハ破産シテ居ルカドウカト云フコトヲ見ル場合ニハ此規定ノ適用ガナイト云フコトヲ仰シヤイマシタ、ソレハ、ソナナ時ニ適用ガアッテハ大變ナンデスカラ、適用ノナイ積リデ居ラシヤッタデセウ、此法律案ガ出マシテ何ガ故ニ破産ノ場合デアルトカ、資本ノ半額ヲ失ッタカ否カラ判定スル場合ニ適用ガナイノカ、何處ニモ私ハ書イテナイト思フ、財産目錄ニハ斯ウ云フ價格デ掲ゲテ宜シイト云フノデスカラ、サウナレバ宜シイ、此法律デ許シテ居ルカラ……ソレデ掲ゲルト云フコトハ當リ前デアルソレデ掲ゲレバ計數上破産スベキモノモ破産ニナラナイト云フコトハ當然ダト思ヒマス、何ガ故ニ其場合ニ適用ガナイト仰シヤルノカ、サウ云フ御積リデアッタカモ知レヌガ、私ニハドウモソレガ分リ兼ねル、而シテ只今ノ御話ダト市價ノ變動ガ少ナイカラマア持ッテ居ル中ニハドウカナルト云フ御話デアリマス、茲ニマア一ツノコトヲ實際的ニ考ヘテ見マス、或保全會社ガアルト考ヘマス、是ハ行政官廳ノ勿論

監督モ何モアリマセヌ、株式會社ノ保全會社デアリマス、是ガ思惑ヲシテ非常ニ借金ヲシタ、サウシテ公債ヲ買ッタト假定シマス、思惑ヲシテ非常ニ借金ヲシタ、借金ノ方ハ幾ラ致シテモ借金ノ方ヲ減ラスト云フ法律デアリマセヌ、借金ハ減リマセヌ、千万圓ノ借金ヲスレバ貸借對照表ノ上デハ千万圓ト云テ居リマス、公債ノ方ハ千万圓ノ借金ヲシテ千万圓デ買ッタノデアアル、ダカラ買ッタ時ノ値段又ソレガ標準發行價格ト云フモノニナッテ居ルカラ、其値段ヲ書イテ置クコトハ出來マス、併シ其時ノ時價ハ不幸ニシテチョット一割バカリ下ガッタト云フコトハ隨分アルト思フノデアアル、サウスルト九百萬圓シカ時價ハナイ、九百萬圓ノ公債……是ガ破産シテ賣ッタリスレバ九百萬圓シカナイ、其會社ガ千万圓借金ヲ背負ッテ居ル、而カモ尙ホ外ノ方デ多少ノ何カ利益ノ勘定デモ出デ參ルト、サウ云フ會社ガ利益配當ヲシテ宜シイト云フコトニナル、比較的大キナ損ヲ背負ッテ居ル會社ガ……ソコデソレガモウ少シ酷イ状態ニナリマス立派ニ破産ニナッテ居リ、到底九百萬圓デ千万圓ノ借金ハ拂ヘナイ、外ニ財産ト云フベキモノハ殆ドナイト云フコトニナリマス立派ニ破産状態デアアル、會社債權者カラ申セバ是ハ早ク

拂ハレナイト云フヤウナコトハ是ハマア想像ハ出來ナイト考ヘマス、果シテ然ラバ此公債ノ市價ト云フモノハ大體ノ時々ノ金利ノ利廻ト云フモノヲ標準ニシテ變動スル外ハ、普通ノ債券ノ如ク際限ナク變動スルト云フコトハナイヤウニ考ヘラレマス、サウシマスレバ銀行以外ノ法人デモ多數持ッテ居ルモノモアリマセウガ、サウ云フ會社ガ此市價ノ下ヲ際ニ於テ、其市價マデ非常ナ無理ヲシテ償却シマセヌデモ、暫ク時期ヲ見デ居リマスルナラバ、一時ノ事情デ市價ガ暴落シマシテモ、更ニ金利關係ナリ其他ノ關係デ、其内ニハ又平準ナ相場ニ恢復シマスカラ、ソレ迄待タサウ、サウ一時ニ償却セヌデモ宜シイ、其内ニハ平準ナ價格ニ恢復ヲスルカラ、ソレ迄待ッテモ宜シイト云フダケノ規定デアリマス、之ニ依ッテ當然ニ破産スベキモノガ破産セヌデ済ムト云フコトニハ相成ラヌト考ヘマス、即チ民事局長カラ申上ゲマシタヤウニ、マア規定ノ適否ハ別問題トシマシテ 此法律ハ破産ノ場合、即チ會社ガ資本ノ半額ヲ失ッタ場合デアルトカ、或ハ會社ノ財産ヲ以テ債務ノ完済出來ナイヤウナ場合、サウ云フ場合ハ本法適用外デアリマスカラ、ソレデ此法律ニ依リマシテ資産ノ實質カラ言ッテ、當然ニ破産ノ範圍ニ入り得ルモノガ、ソレヲ免レルト云フ、斯ウ云フ結果ニナラヌコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員外議員(松本滋治君) 只今大變斷定的ニ資本ノ半額ヲ失ッタカ否カ、或ハ破産シテ居ルカドウカト云フコトヲ見ル場合ニハ此規定ノ適用ガナイト云フコトヲ仰シヤイマシタ、ソレハ、ソナナ時ニ適用ガアッテハ大變ナンデスカラ、適用ノナイ積リデ居ラシヤッタデセウ、此法律案ガ出マシテ何ガ故ニ破産ノ場合デアルトカ、資本ノ半額ヲ失ッタカ否カラ判定スル場合ニ適用ガナイノカ、何處ニモ私ハ書イテナイト思フ、財産目錄ニハ斯ウ云フ價格デ掲ゲテ宜シイト云フノデスカラ、サウナレバ宜シイ、此法律デ許シテ居ルカラ……ソレデ掲ゲルト云フコトハ當リ前デアルソレデ掲ゲレバ計數上破産スベキモノモ破産ニナラナイト云フコトハ當然ダト思ヒマス、何ガ故ニ其場合ニ適用ガナイト仰シヤルノカ、サウ云フ御積リデアッタカモ知レヌガ、私ニハドウモソレガ分リ兼ねル、而シテ只今ノ御話ダト市價ノ變動ガ少ナイカラマア持ッテ居ル中ニハドウカナルト云フ御話デアリマス、茲ニマア一ツノコトヲ實際的ニ考ヘテ見マス、或保全會社ガアルト考ヘマス、是ハ行政官廳ノ勿論

監督モ何モアリマセヌ、株式會社ノ保全會社デアリマス、是ガ思惑ヲシテ非常ニ借金ヲシタ、サウシテ公債ヲ買ッタト假定シマス、思惑ヲシテ非常ニ借金ヲシタ、借金ノ方ハ幾ラ致シテモ借金ノ方ヲ減ラスト云フ法律デアリマセヌ、借金ハ減リマセヌ、千万圓ノ借金ヲスレバ貸借對照表ノ上デハ千万圓ト云テ居リマス、公債ノ方ハ千万圓ノ借金ヲシテ千万圓デ買ッタノデアアル、ダカラ買ッタ時ノ値段又ソレガ標準發行價格ト云フモノニナッテ居ルカラ、其値段ヲ書イテ置クコトハ出來マス、併シ其時ノ時價ハ不幸ニシテチョット一割バカリ下ガッタト云フコトハ隨分アルト思フノデアアル、サウスルト九百萬圓シカ時價ハナイ、九百萬圓ノ公債……是ガ破産シテ賣ッタリスレバ九百萬圓シカナイ、其會社ガ千万圓借金ヲ背負ッテ居ル、而カモ尙ホ外ノ方デ多少ノ何カ利益ノ勘定デモ出デ參ルト、サウ云フ會社ガ利益配當ヲシテ宜シイト云フコトニナル、比較的大キナ損ヲ背負ッテ居ル會社ガ……ソコデソレガモウ少シ酷イ状態ニナリマス立派ニ破産ニナッテ居リ、到底九百萬圓デ千万圓ノ借金ハ拂ヘナイ、外ニ財産ト云フベキモノハ殆ドナイト云フコトニナリマス立派ニ破産状態デアアル、會社債權者カラ申セバ是ハ早ク

破産ニシテ片ヲ著ケテ貰ハナケレバ實ニ危
險千萬アル、然ルニ此法律ノ結果トシテ、
ソレニハ破産ノ宣告ハ出來ナイト云フコト
ニ私ハナルト思ヒマス、ソレガナラナイト
云フ御斷定ハ……サウ云フ御積リデアッ
カモ知レヌガ、何處カラ出テ來ルノカ私ニ
ハ了解出來ナイ、併シハ只今民事局長モ
他ニ御差支ガアッテ此處ニ居ラシヤイマセ
ヌカラ、幾ラ伺ッテモ私ハ私ノ望ムヤウナ、
私ノ説ガ誤ッテ居ルト云フコトヲ示サレル
ヤウナ御返事ハ伺ヘナイカト思ヒマスノ
デ、更ニ進ンデモウ一ツノ方ノ問題ニ、是ハ比
較的輕少カモ知レマセヌガ移リタイと思フ
ノデアリマス、ソレハ此特例ニ依ッテ場合ニ
ハ、時價カラ申シマスレバ大變ナ相違ガア
ルコトガアリ得ル、此特例ニ依ッテ計算ス
レバ……例ヘバ千万圓ノ公債ガアルト云フ
コトニナリ、從テ他ノ持ッテ居ル有價證券ト
併セマスト、例ヘバ二千万圓ノ有價證券ア
リト掲ゲルコトガ出來ル、併ナガラ時價ハ
只今申シタヤウニ公債ガ不幸ニシテ下落シ
テ居ッテ九百万圓シカ公債ガナイ、依ッテ時價
デ計算ヲシマスト有價證券ハ千九百万圓シ
カナイ、サウ云フ場合ニ此特例ニ依ッテ二十
万圓ノ有價證券アリト財産目録、貸借對照
表ニ掲ゲルコトヲ認メテ居ル、是ハ私ハ認

メテ宜シイト思フ、先程申シタコトハ別ト
シテ……銀行其他ノ監督ノアル會社ニ付テ
ハ是ハ宜イコトダラウト思ヒマス、但シサ
ウ云フモノデアルト云フコトヲ會社債權者
ガ知り得ル手段ハ必要デハナイカ、言葉ヲ
換ヘテ申セバ、サウ云フ特例ニ依ッテ所ノ財
産目録、貸借對照表ノ場合ニハ、此特別ニ
依ッテ、例ヘバ有價證券二千万圓トナルケレ
ドモ、若シ公債ノ時價評價ヲシマシテ、百
万圓減ルンダト云フコトガ、此財産目録、
貸借對照表ヲ見ル眼ノアル人ガ見たナラバ
分り得ルヤウニシテ置クト云フコトハ、會
社債權者ノ保護、又將來ニ於テ會社ト取引
セムトスル者ノ保護ノ爲ニハ、全體ノ爲ニ
必要ガアルト私ハ思フノデアリマス、抑、
商法ガ財産目録、貸借對照表ノ制度ヲ設ケ
マシテ、殊ニ評價等ニ付テモ色々規定ヲ設
ケ、又株式會社ニ付テハ貸借對照表ノ公告
ヲモ命ズルコトニシテ居ルノハ、會社ノ債
權者、或ハ將來ニ對シテ會社ノ取引シテ債
權者トモアルベキ人ヲ保護スル趣旨デアリ
マス、是等ノ人ニ對シテ會社ノ財産狀態ハ
ドウデアアル、是レダカラマア貸金ハソレダ
ケ置イテモ大丈夫デアアル、或ハ大キナ取引
ヲシテ金ヲ貸スガ宜シイト云フコトヲ分ラ
セル爲ニアルニ違ヒナイ、コンナコトヲ只

今説明スルノハ失禮カモ知レマセヌ、然ラ
バ其財産目録、貸借對照表ニ於キマシテ、
此特例ニ依ッテモノデアッテ、特例ニ依ラナ
イデ、本式ニヤレバ此位ノモノハ違ッテ來ル
ノダト云フコトガ、何トカシテ眼ノアル者
ガ見レバ少クトモ分り得ルヤウニ、其數字
ヲ示サスコトガ必要デアアル、是ハ私ハ言フ
迄モナイコトト思フ、其御用意ハ此立法ニ
ハドウモナイヤウデアリマス、之ニ付テハ
何カ御考ニナッタコトガアルカドウカ、又サ
ウ云フモノハ要ラナイト云フヤウナ御考デ
アルノカドウカ伺ヒタイ

○政府委員(富田勇太郎君) 此法律ノ結果
ニ依リマシテ、法律ガ濫用サレル、或ハ此
爲ニ會社ノ債權者ノ利益ヲ害スル結果ニナ
ルコトハ避ケナケレバナリマセヌカラ、適
當ノ其豫防策ヲ講ズルコトハ至當ト考ヘテ
居リマス、只今仰セラレマシタヤウナ會社
ノ帳簿ニ於テ、特別ニ依リマス外ニ、有價
證券ノ時價格ヲ記載シテ、常ニ對照シマシ
テ、其會社ノ其時ニ於ケル實質的ノ價值ヲ
見ルト云フコトハ、是ハ最モ必要ナコトト
考ヘラレマス、何レサウ云フ點ニ付キマシ
テハ關係方面ト相談シマシテ、ドウ云フ方
法デアリマシタノガ一番宜イカ、十分ニ研
究イタス考デ居リマス

○委員外議員(松本泰治君) 只今私ガ心配
シテ居リマスコトニ付テハ何等カ一ツシタ
イト云フ御考、之ヲ爲サヌト云フノハ法律
以外ニハ全體ニ互ッテハ出來マセヌ、明言イ
タシマス、銀行トカ、保險會社ノモノトカ
監督ノアリマス會社ニ付テハ、財産目録貸
借對照表等ノ形式ヲ省令等デ定メテ居リマ
ス、是等ノ會社ニ付キマシテハ只今仰セラ
レタ是ハ省令等ニ依ッテ、立派ニ出來マス、
併シ監督權ノ何モナイ會社ニ對シマシテ
ハ、絕對ニ出來マセヌ、法律ニ依ルノ外絶
對ニ出來マセヌ、幾ラ關係者ト御相談ニナ
タ所デ、マア法律ヲ拵ヘヤウト云フ御相談
ヨリ出來ナイコトハ明瞭デアリマス、茲ニ
於テカ私ハ申スノデアリマス、即チサウ云
フ監督權ノアル會社ダケニ、之ヲ御適用ニ
ナレバ宜シイ、監督權ノ行使ノ出來ル……
之ニ依ッテ只今私ガ第二ニ申シマシタヤウ
ナコトモ定メ得ルヤウナ會社ニ限ッテ、此法
律ヲ御適用ニナレバ是ハ自由ニサウ云フコ
トハ出來ル、ソコデ私ハ何故適用ノ範圍ヲ
サウ云フ程度ニ御限リニナラナカッタカ、
先程來仰シタルノデ、一般會社ニハマアソ
ンナニ公債ヲ澤山持ッテ居ル奴ハナイト云
フヤウナコトヲ仰シタルケレドモ、是ハマ
ア大體ハ居ナイト云フ話デアッテ、私人ノ保

全會社のノ株式會社ナドニハ是ハ隨分アルト思フ、是ガ又隨分債權者カラ申スト危イモノデアル、斯ウ云フモノニ對シテ、是デ濫用ニ依ッテ非常ニ危イコトガ出來ルカモ知レヌト云フコトニナルト、是ハドウモ非常ニ由々シキ大事デアラウト思フ、一言ニ申セバ此法律案ハ、公債市價ノ維持ニ急ニシテ、一般ノ會社ニ付キマシテ其會社債權者ノ保護ト云フコトニハ絶對ニ注意ヲ拂ハレテ居ラナカッタモノデアルト云フノガ、甚ダ失禮デアルガ、サウ申サナケレバナラヌト私ハ思ヒマス、之ヲ救済スルノ途ハ何處ニアルカト申セバ、此適用ノ範圍ヲ勅令デ限ラレマシテ監督權ノナイヤウナ會社ニハ及バヌヤウニ爲サル、サウ爲ステ一ツモ差支ヘナイ、何トナレバサウ云フ一般會社ニハ公債ヲ澤山持ッテ、其爲ニ非常ニ困ルト云フヤウナモノハ甚ダ少イノデアアル、而シテ其少イモノガ濫用スレバ又危險ナモノデアアルノダカラ、サウ云フモノニ適用ヲ及ボス必要ハ私ハ絶對ニナイト思フ、殊ニ此破産ノ場合ノ如キ、此督促ニ依リマシテ破産スベキモノガ破産ニナラヌト云フヤウナコトデハ實ニ困ッタコトデハナカラウカト私ハ思ヒマス、甚ダ委員外デ特ニ質問ノ御許ヲ願ヒマシテ大變長イ時間ヲ費シマシテ、殊ニ意見

ガマシキコトマデ述ベマシテ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、尙ホ一言シテ置キマスガ、或ハ今更之ニ私ノ申シタヤウナ修正ヲ加ヘラレヌト云フコトニ事實ナルカトモ思ヒマス、サウナレバ近キ將來ニ議會ガ開カレルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、少クトモ其時迄ニハ十分ニ御考ヘニナッテ、此公債市價ノ維持及ビ銀行保險會社等ノ是ハ一ツノ救済ニモ矢張りナルカラ、サウ云フコトハ決シテ私ハ反對セナイ、唯ソレヲ爲サルコトハ大變結構デアルガ、其爲ニ一般會社ノ債權者及ビ將來ニ於テ債權者トナルベキモノニ非常ナル危イコトニナッテモ宜シイト云フコトデハ行過ギルガラウ、此點ノ修正ハ若シ此議會デドウシテモ出來ナイト云フコトナラ、私ハドウカ一ツ當局デ十分御考ヘニナッテ、極メテ近く、法律ヲ以テ只今私ノ憂ヘテ居ルヤウナコトノナイヤウ、法律ヲ以テ之ヲ杜絶セラレル手段ヲ執ラレルコトヲ希望イタシマス、私ハ實ハ質問ノ御許ヲ得タノニソレ以上ニ意見ガマシキコトマデ述ベマシテ甚ダ恐縮デス、私ハ是レ以上發言ヲ致シマセヌ

○委員長(子爵前田利定君) 尙ホ御質疑モ殘ッテ居ラウト思ヒマスガ、ソレハ午後ニ願フコトニ致シマシテ、十二日ニ此特別委員ニ付託ニナリマシタ造幣局資金拂出ニ關スル法律案、之ニ付テ實ハ先刻カラ政府委員ガ出席サレテ居ッタノデスガ、此機會ニ一應説ヲ聽キ取りタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○政府委員(瀧正雄君) 政府ガ本案ヲ提出イタシマシタ理由ノ大要ハ、過日本會議ニ於キマシテ説明申上ゲマシタ通りデゴザイマスガ、一口ニ之ヲ申上ゲマス、昨年來ノ事變ノ影響ニ依リマシテ在支邦人ノ事業ガ極度ニ窮迫ニ頻シテ居リマスルノデ、是等ノ邦人事業ノ復興資金ト致シマシテ、政府ヨリ銀ノ地金ヲ貸付ケムトスルト云フノガ其精神デアリマス、支那ニ於キマシテ商工業其他ノ事業ヲ經營シテ居リマスル邦人ハ、昨年來未ダ會テ見ザル深刻ナル日貨排斥ノ打擊ヲ被リマシテ、半年以上ニ亙ッテ取引ノ杜絶、金融ノ梗塞、ソレカラ資金ノ枯渴等ノ爲ニ、甚大ノ損害ヲ被リ、是ガ爲ニ經濟的ニ甚ダシイ苦境ニ陥ッテ居リマシタ所ガ、丁度ソレニ搗テテ加ヘテ上海事件ノ突發等ガアリマシテ、事態ハ一層惡化シテ參リマシテ、邦人ノ經濟活動ハ殆ド停止スルノ已ムナキ狀態ニ立至ッタノデアリマス、中ニハ其事業ノ復興ガ殆ド困難ニナッタモ

ノモアリマス、又再起ノ見込ガ立タナイヤウニナッタモノモ尠クナイト云フ狀態ニ陥ッタノデアリマス、之ヲ此儘ニ放任シテ置キマシタナラバ、是等ノ在支邦人ト云フ者ハ、多年ニ亙ッテ拮据經營シテ漸ク築上ゲマシタ所ノ其經濟的地歩ガ根柢カラ破壊サレテシマフト云フ處ガアルノデアリマス、是ハ當ニ是等ノ邦人自身ノミニ對シテ誠ニ同情ニ堪ヘナイノミデハナクシテ、廣ク我が對支經濟ノ發展ノ見地カラ申シマシテモ、此儘ニ放任シテ置クト云フコトハ如何カト思ハレ、心配ニ堪ヘナイ狀態デアリマスルノデ、茲ニ政府ハ此際在支邦人ニ低利資金ヲ貸付ケマシテ事業ノ復興ヲ容易ナラシムル途ヲ開クト云フコトガ極メテ緊要デアルト認メマシテ、造幣局資金トシテ保有シテ居リマスル銀地金ヲ拂出シマシテ、之ヲ以テ貸付金ニ充當スル爲ニ此法律案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、尙ホ本案ノ内容ニ付キマシテ二三御説明ヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス、先ヅ造幣局資金ヨリ拂出シマスル所ノ銀地金ハ五萬貫デゴザイマス、時價ニ評價イタシマシテ約五百萬圓程度ノモノデアリマス、在支在留民側ノ希望ニ基キマスレバ此額デハ實ハマダ十分デハナイノデアリマス、併ナガラ政府財政ノ現狀ニ

鑑ミテ見マシテ此程度ニ止メタ次第デアリマス、拂出シタル銀地金ハ其儘ニ銀トシテ貸付ケルノデアリマス、借受人タル在支邦人ハ之ニ依リマシテ金ト銀トノ間ニ生

ジマスル爲替相場ノ變動ノ損失ヲ免ルルコトガ出来マスルノデ、彼等ニ取リマシテハ銀デ以テ借受ケルト云フコトヲ最モ便利トスル次第デアリマス、造幣局保有ノ銀地金ヲ利用スルヤウニ致シマシタノモ此趣旨カラ出タノデアリマス、尙ホ貸付方法等ニ關シマシテハ本案ガ成立ヲ見タル曉ニ於テ初メテ決定サルル次第デゴザイマスケレドモ、大體ノ方針ト致シマシテハ成ルベク長期ノ年賦償還ノ低利貸付ト云フ方法ヲ執リタイト思ッテ居リマス、各地ノ狀況ニ應ジマシテ、居留民團又ハ其他ノ適當ナル團體ヲ直接ノ借受責任者ト致シマシテ、之ヲ通ジテ各個人ノ方ニ貸付ヲ致シテ行キタイト云フ所存デ居リマス、其貸付ノ實行及貸付後ノ使途等ニ付キマシテハ、現地ニ居リマスル所ノ領事官ヲシテ嚴重ナル監督ニ當ラシムル考ヲ持ッテ居リマス、又本資金ノ貸付ハ上海ノミニ限ル次第デハゴザイマセヌ、成ルベク支那ノ他ノ地方ニモ割當テテ貸付ケタイト云フ考ヘデ居リマス、此點ニ關シマシテハ各地ノ資金必要ノ程度ヲ考慮イタシ

マシテ決定ヲ致ス考ヘデ居リマス、何卒御審議ノ上ニ速ニ可決アラムコトヲ切望イタシマス

○男爵菊池武夫君 支那ニ居リマスル個人ニハ貸サズニ居留民團ニ御貸シニナルト云フ譯デスナ

○政府委員(瀧正雄君) 左様デゴザイマス、先ヅ直接ノ責任者ト致シマシテハ、民團若クハ適當ナル團體ガアレバ其適當ナル團體、是ハ其地方ノ狀況ヲ能ク考ヘマシテ、直接ノ責任者ヲサウ見當ラ付ケテ居ル次第デゴザイマス

○男爵菊池武夫君 サウスルト抵當ナシニ御貸シニナリマスカ

○政府委員(瀧正雄君) 左様デゴザイマス

○男爵小畑大太郎君 只今御説明ガゴザイマシタガ、今朝程頂戴シマシタ手許ノ參考書ヲ拜見シマシテモ、上海ダケノ被害デモ相當多額ノモノニナッテ居ル、今成程御話ノゴザイマシタ通り財政窮迫ノ場合デゴザイマスカラ、今回ハ五百万圓ニ止マルカモ知レマセヌガ、第二回第三回ト御出シニナリマスカ、ドウデアリマスカ、ソレカラ今日ハ上海ハ先ヅ多少安定シテ、事業ノ復興ト云フコトモ出来ルカモ知レマセヌ、唯一般在支トアッテ、漢口ヲ意味スルトカ、長沙ヲ

意味スルトカ云フコトデアルト多少考ヘナケレバナラス點モアルノデアリマスカ、其點ハドノ範圍マデ擴ガルノデアリマセウカ、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、此間ノ事件デ上海ハ非常ニ被害ヲ被ッテ、住ムニ家ナク、モウ家族モバラ／＼ニナッテ、殆ド其事業モ出来ヌヤウナ狀況ニナッテ居ル者モ澤山アル、是ハ成程我が權利ノ擁護ノ爲ニ遭ッタノデアリマスカラ、已ムヲ得ヌトハ言ヒナガラ、ドウシテモ是ハ國家ガ賠償……ト云フコトモ少シ文字ガ惡イカモ知レマセヌケレドモ、幾ラカ其意味ニ於テ損害ノ程度ヲ償フテヤラナケレバナナルマイト思フノデアリマスカ、是モ私ハ先決ノ問題デヤナイカト思フ、唯店ガアリ、店舗ガアリ、工場ガアッテ、事業ヲ爲シ得ル者ハ成程借リラレマセウケレドモ、店舗モ廢墟見タイニナッテ居ル、工場モ廢墟見タイニナッテ居ル、何一ツ營業スルコトモ出来ヌ者ハ今日此恩典ニ浴シ得ナイノデハナイカト思フ、又浴シ得テモ是ハ貸借フスル金デアリマスカラ、他日返サナケレバナラナイ、家ヲ建テ、工場ヲ建テ直シテ、元ノ通り復興シテ行カウト云フニハ、ドウシテモ償フテ戴ク金ガナカッタ出来ヌノデヤナイカ知ラヌト斯ウ思ハレルノデアリマスカ、其今伺ヒマス

ル要點ヲ伺ヒタイノデアリマス、何カ御考ガアルノダラウト思ヒマスケレドモ、早ク爲サラスト云フト、是ハ困難デヤナイカ知ラスト思フノデアリマス

○政府委員(瀧正雄君) 第一ニ御問ヒ下サイマシタ點ハ、是ダケノ金額デモウ次ニハ計畫ヲシナイカト云フ御質問デゴザイマスガ、只今ノ所是ダケノ計畫シカ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ第二ニ支那ノ各地ト言ヘバ有ラユル方面ガ出テ來ルガ、其點ハドウカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスガ、主トシテ考ヘテ居ル點ハ矢張り上海デゴザイマスケレドモ、勿論上海ノミニ限ラナイデ、成ルベク外ノ地ニ於キマシテモ其必要ノ程度ナドハ能ク斟酌ヲ致シマシテ考ヘテ行キタイト思ッテ居リマス、更ニ此金ノ使ヒ方ノ……用途ト言ヒマスカ、即チ家ヲ建テタリ、固定サレテシマウヤウナ點ハドウカト云フコトニ付キマシテハ、實ハ大體ノ方針トシテ、運轉資金ノ方ニ廻シタイト云フ考ガ主デアリマスケレドモ、今申上ゲマシタヤウニ、居留民團若クハ適當ナル團體ヲ直接ノ責任者トシテ貸スノデアリマスカラ、ソレカラ先ノコトハ民團ナリ、其團體ナリガ能ク考慮ノ上デ多少ノ變化モアリ、取計ヒモアルコトト考ヘテ居リマス

○男爵小畑太郎君 チョット私ノ申上ゲ

ヤウガ惡カッタノデアリマセウガ、私ハ家ガ潰レ、店舖ガ潰レ、工場ガ潰レタ者ニ對シテハ、國家ガ賠償シテヤルノガ宜クハナイカト斯ウ思フノデアリマス、デスカラ此事業資金ヲ貸スト云フ以外ニ、サウ云フ御考ガアリヤ否ヤト云フコトヲ此際伺ヒタイ、新聞紙ノ傳フル所ニ依レバ、外國人モ相當ノ被害ヲ被テ居ル、其場合ニハ外國人ニモ賠償シテヤラウト、現ニ今日手許ニ頂戴シタ參考書ニモアリマスガ、其圓卓會議ガ出來タ後ニ國際間ノ被害ハ賠償シテヤラウト云フヤウナコトガ書イデアリマスガ、ソレ以前ニデスナ、邦人ノ被害ヲ被タ者ニハ金ヲ貸シテヤルト云フヨリハ、御ヤリニナル方ガ先チヤナカラウカト云フコトヲ伺テ居ルノデス

○政府委員(武富敏彦君) 私カラ御答ヘ致

シマス、直接ノ此上海事變ト云フヤウナモノニ依ル直接ノ此損害ハ、ソレノ問題ハ只今外務次臣カラ御答申シマシタ通りニ此資金デハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、ソレハ嚴格ナ意味カラ申シマス、日本政府ガ損害ヲ賠償スベキモノデアアルカドウカ、寧ロ從來ノ日本政府ノ立前カラ申シマス、支那ガ損害ヲ賠償シナケレバナラヌ、斯ウ云

フ結論ニナルダラウト思ヒマス、從テ日本政府ト致シマシテ、此際サウ云フ者ニ付テ考ヘルベキコトト所謂救恤ノ問題デアリマス、是ハ單ニ上海ノミデハアリマセヌ、支那ノ他ノ地方ニモ相當考ヘルベキ事態ガアルト思ヒマス、是ハ餘程公平ニデス、慎重ニ取扱ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ餘リ現ニ御願ヒ致シテ居リマス、御審議ヲ御願ヒシテ居リマスル問題トハ別個ノ問題ト御承知ガ願ヒタイ、唯只今仰セラレマシタ參考書ノ中ニサウ云フ意見ガアルト云フ御話デアリマシタガ、其參考書ハ實ハ上海ニ居リマス商務官ノ意見デゴザイマス、ソレハ政府ノ意見デモ何デモナイ、單ニ御參考ニ差上ゲタ次第デアリマスカラ、其點モドウゾ御承知置キヲ願ヒタイ

○委員長(子爵前田利定君) マダ御質疑モ殘テ居ルデセウガ……

○男爵小畑太郎君 チョットモウ一言ダ

ケ、ホンノ二三分デ片著キマス、先年濟南事件ノ場合ニハ支那カラ賠償金ヲ取ラヌ中ニ濟南ノ在留民ニハ救済ヲシタ、ソレト矢張り同ジコトガ上海デモ行ハルベキデヤナイカ、上海事變ト云フモノハ、濟南事件ヨリハモット大キイノデアリスカラ、ソレガ當然デハナカラウカト云フ私ハ考テ持

テ居ルノデアリマス、此處デ申スノモオカシイガ、先般私共ノ會ヘアナタノ方ノ會計課長ガ見エテ御話ガアッタ、其時ハ何カ調べテ居ルト云フヤウナ御話ガアッタ、其時ハ未ダ貸金ノ問題モ出テ居ラナカッタ、今其貸金ノ……事業資金ノ問題ガ出テ來マシタカラ、御話ヲ伺テ譯デアリマス、何カ支那ノ方カラ賠償金デモ取ル都合ノ上カラ何カ御考ニナッテ居ルノデアアルカ、ソレニ付テハ御考ガアルノカ、ドウカト云フコトヲ伺テ置ケバ宜イノデス

○政府委員(武富敏彦君) ソレハ考ガアルト御答ヘ申シテ宜カラウト思ヒマス、唯此機會ニチョット御説明申シテ置キタイコトハ、只今申上ゲマシタ理論ノ問題ト離レテ此案ヲ實行スルコトガ出來マスレバ、自然或部分ニ付キマシテハ其問題モ解決サレルノデヤナイカト實ハ考ヘテ居リマス、ダカラ此案ノ間接ノ影響ハ、所謂救恤トカ損害賠償トカ云フ問題ノ解決ニモ部分的ニハ利用サレルノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○委員長(子爵前田利定君) 井田男爵ハ大藏大臣ニ御質問デスカ、ソレトモ大藏政府委員ナラオ出デゴザイマスガ

○男爵井田馨楠君 私ハ別ニ質問イタシテ

居ラヌノデアリマスガ何カ……

○委員長(子爵前田利定君) マダ御質疑モ殘テ居リマセウガ、午後一時半カラ又續行イタシタイト思テ居リマス、明日ハ議會ノ最終日ニナッテ居リマスカラ、相成ルベクハ本日午後申ニ出來ルモノナラバ審査ヲ致シタイト考ヘテ居リマスカラ、何卒御勉強ヲ願ヒタイト思ヒマス

午後零時二分休憩
午後一時四十九分開會

○委員長(子爵前田利定君) 御著席ヲ願ヒマス、是ヨリ午後ノ特別委員會ヲ開キマス、皆樣ニ御許シヲ願ヒマスガ、先程委員外ノ松本議員ヨリ政府當局ニ對シマシテ國債ノ價額算定ニ關スル法律案ノ特例ヲ政府ノ監督權ノ及バナイ一般會社ニ適用スル件ニ付キマシテ縷々御質問ガアリマシタ、ソレニ對シテ政府委員カラソレノ御答辯ガアリマシタケレドモ、稍、徹底ヲシ得ナイ點ガアルヤウニ思ヒマスカラ、皆樣ニ御異存ゴザイマセヌケレバ一應私カラ大藏大臣ノソレニ對スル御所見ヲ叩キタイト存ジマス、御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 大藏大臣ニ伺ヒマスガ、是ハ定メシ政府委員カラ御傳聞

ニナッテ居ルコトダラウト思ヒマスガ、先刻
松本議員カラ國債ノ算定ニ關スル法律案ノ
特例ヲ政府ノ監督權ノ及バナイ一般會社ニ
適用スル可否ニ付テノ御質問的御意見ガ
アッタンデゴザイマス、ソレニ對シマスル大
藏大臣ノ御所見ヲ伺ッテ、速記録ニ留メタ
イト存ジマス

○國務大臣(高橋是清君)

此公債ノ、俗ニ

言フ優遇法ト申シマスモノハ、是ハ外國ノ
先例ナドヲ見マスモ云フト、國債ノ用途ニ
付テ、他ノ有價證券トカ、社債トカ或ハ株券
ト異ッテ必ズ公債デナケレバナラヌト云フ
用途ヲ擴メテ優遇スルノガ多イノデアリマ
ス、我國デモ多少國債ニ付テハ其使用法ニ
於テ、用途ニ於テ優遇ハセラレテ居リマス、
併ナガラ今日ノ如クニ公債ガ多額ナモノガ
發行サレテ、サウシテ尙ホ今後少ナカラザ
ル公債ノ發行ヲ要スルト云フコトガ目前ニ
見エテ居リマス、而シテ一方ニ於テハ民間
デ之ヲ快ク吸收スルト云フ力ガナイノデア
リマス、茲ニ於テ又特ニ公債ノ扱ヒ方ヲ考
究シナケレバナラヌト云フコトニ立至ッタ
ノデアリマス、諸實際ヲ見マスモ云フト、
一番公債ノ嫌ハレルノハ最モ大部分ヲ持ッ
ベキ銀行、保險會社ト云フヤウナ所デ、何
分市價ガ常ニ僅カナ間ニ發行サレタ公債ガ

下ガリ、其場合ニ其半期ノ利益ヲ以テ其下
ガッタモノヲ現行ノ法律デハ補填シテ行カ
ナケレバナラヌ、損失ヲ埋メテ行カナケレ
バナラヌ、是ガ何ヨリ苦痛デアル、ソレデ
ナゼ公債ノ相場ノ動キガサウ激シイカト申
シマス、只今ノヤウナコトデアリマスル
カラシテ面目上公債ノ發行ノ應募ノ分擔ヲ
銀行ノ如キハ或ハ斷テモ宜イノデアリマ
スケレドモ、諸公債ヲ斷ルト言ヘバ、モウ
何ヤラ銀行ノ信用ガ一般ニ失ハレル、預金
者ニ對シテノ信用ガ失ハレルト云フヤウナ
大ナル懸念ガアル爲ニ、無理ニデモ先ヅ相
當ノ公債ニ應ゼネバナラヌト云フヤウナ實
際ノ有様デアリマス、ソレ故ニ少シデモ損
ノ立タヌ中自分ノ應募シタ公債ハ市場ニ出
シテ賣ッテ、サウシテ半期ノ利益デ埋メルト
云フヤウナ危險ヲ除キ去ル、或ハ自分ノ引
受ケタ値段ヨリ市價ガ少シデモ高クナレバ
尙ホ進ンデソレヲ賣ル、サウ云フ爲ニ少シ
公債ノ値ガ市場デ維持サレルト、サウ云フ
モノガ出テ來テ市場ノ値ヲ崩シテ公債ガ安
クナル、ソコニ至ルト云フト先ヅ普通ノ株
券、債券ナドト上リ下リノ幅ハ違ヒマスル
ケレドモ、其取扱ハレテ居ル點ハ殆ド同ジ
デアル、ソレ故ニ取得價格或ハ新ニ發行シ
タモノハ政府ノ發行シタ價格ヲ以テ市價ニ

拘ハラズ考課狀ノ半期ノ決算ニ其價格デ記
帳スルコトヲ許ス、斯ウナリマスモ云フト、
銀行ガ其半期ノ利益ノ中カラ補填ヲスルト
云フ必要ガナイカラシテ、賣ラムトスル公
債モ先ヅ所有シテ居ル、斯ウ云フコトニナ
リマスカラ、市場ニ於テモ賣リ物ガ少ナク
ナル、一體我國ノ公債ガ他ノ會社ノ株券ノ
如ク常ニ賣買授機ノ目的物トナッテ居ルノ
ガ甚ダ宜シクナイコトデアリマス、只今ノ
ヤウニシテ賣買物ガ常ニ出ルコトガ少クナリ
記帳ノ上ニ於テハ取得價格デ記帳スレバ宜
イト云フコトニナリマスレバ、自然ト公債
ノ市價ト云フモノガ安定シテ參リマス、是
ハ尤モ非常時ノ場合ハ別トシマシテ、平素
ノ場合ニ於キマシテハ各市場共ニ公債ニ
限ッテ、賣買ハ行ハレルケレドモ、ソレガ授機
思惑ノ賣買ニ非ラズシテ、實際ノ需要供給
カラ起ルノデアリマシテ、他株券ノ如ク市
場相場ガ常ニ變動スルト云フモノデハナイ
ノデアリマス、ソコデ銀行、保險會社、即
チ政府ノ監督ノ出來ルモノハ宜カラウガ、
政府ノ監督ノ出來ナイ一般ノ會社ト云フヤ
ウナモノニ對シテハドウ云フモノダラウ
カ、或ハ其會社ニ依ッテハ取得價格デ記帳
スルコトヲ好イ幸ニ、或ハソレヲ以テ蝸配
當ノヤウナコトヲスル弊ヲ生ジヤセヌカト

云フ懸念モアラレル譯デアリマス、ケレド
モサウ云フ會社ト云フモノハ、公債ノ如キ
長期ナモノニ其資本ヲ投資シテ營業ヲスル
ト云フモノハ先ヅ少イ、成ルベク資本ヲ度々
繰返シ運轉シテ、以テ其利益ヲ舉ゲルト
云フ方ノ性質ノモノデアリマスカラ、假令
一般ノ會社ガ此法律ニ依ッテ公債ノ取得價
格ヲ考課狀ニ載セレバ宜イ、ソレデ半期ノ
決算ニ從來ナラバ損ガ行クモノヲ損ヲ出サ
ズシテ配當ニ向ケルト云フヤウナコトノ弊
害ハ先ヅタントナカラウト私ハ考ヘテ居
ル、若シ又サウ云フコトガアレバ是ハ實際
分ル譯デアリマス、唯公債ノ所有價格ガ如
何ト云フコトバカリデヤナイ、其會社ノ一
切ノ不斷ノ經營ノ仕方ガドウダ、株主ニ對
シテ言フコトガ眞實デアルヤ否ヤ、斯ウ云
フコトガ其會社ノ強弱ヲ表明スルモノデア
リマシテ、又株主始メ會社ノ基礎如何ト云
フコトハ常ニ監査役モ居リマシテカラニ注
意ヲシテ行カナケレバナラヌコトデアル、
併ナガラ今迄ハ配當サヘ餘計アレバ内ハド
ウデモ一向無頓著ト云フヤウナ弊ガ我國ノ
一般ノ會社ニアリマスケレドモ、此儘ニシ
テ置ク積リモ政府トシテハナイ、矢張り株
主モ銘々ノ大事ナ資本ヲ投下シテ居ル會社
ノコトデアレバ、唯配當ガ餘計アルカラト

云フテ満足スル譯ニハ行カナイト云フコトハ、實際ノ經驗カラ其處ヘ進ンデ行クモノト私ハ考ヘル、昨日マデハ立派ナモノデアルト信ジテ居タモノガ、焉ゾ知ラン内部ヲ見レバ殆ド今迄ハ蛸配當デアッタト云フヤウナコトモアルノデアリマス、ソレ故ニ先ヅ株主トシテハ監査役ノシカリシタ者ヲ株主ニ代テ會社ノ事業ヲ監査スル人ヲ選ブト云フヤウナコトニ進ンデ行カナケレバナラズ、又サウ云フコトニ指導シテ行カナケレバナラヌ、要スルニ先ヅ政府ノ監督ノ下ニアル銀行其他ノ會社ガ一番公債ヲ餘計持チ得ル會社、又持つベキ會社、ソレガ政府ノ監督ノ下ニアルノデアリマスカラ、先ヅ此法案ニ依ッテ、左程財界ノ弊害ヲ醸スヤウナコトハナイト信ジテ居リマス

○委員長(子爵前田利定君) 今一點松本委員ノ質問ガアッタノデス、ソレハ詰リ實體ガ破産ニ成リカカッテ居ル、資本ノ半分モ食ッテ居ル、或ハ非常ニ一方ニ債務ガアル、ソレニ、所有シテ居ル公債ノ記帳ノ金ニ依ッテ、特例ニ依ッテ實際ナラバ、破産スルカ、破産シナクテモ、非常ニ傾キカクタ會社ガ健全ナ狀態ヲ裝ッテ居ルト云フコトハ債權者ニ非常ニ害ガアルト云フ點ニ付テ質問ガアッタノデス

○國務大臣(高橋是清君) 只今ノ點ニ付キマシテハ、法律ノ點ハ分リマセヌガ、實際問題トシマシテハ、破産シタ會社、破産スベキ會社、サウ云フモノガ今マデ記帳ヲ偽ッテ居ル、是ハ或ハ其所有トナッテ居ル株券、事業ノ基本ノ積リ方或ハ仕入金、製品ノ賣タモノノ代價ノ收支、何カサウ云フ所ニ間違ガ多クアルノデアリマシテ、自分ノ所有價格ガ非常ニ多ク積ッテ居ルト云フモノノ中ニ、公債ト云フモノハ誠ニ少ナイモノデアアル、或ハ會社ガ官ニ物ヲ納メルト云フ場合ニ身元保證トカ、保證金トカ云フモノデ、公債デナケレバナラスト云フノデ多少持ッテ居ル會社モアリマセウ、個人モアリマセウ、是等ハ誠ニ他ノ、其人ノ所有シテ居ル株券、其他ノ財産カラ見タラ、資金カラ見タラ、ホンノ一部ニ屬スル位ノモノデアラウト思ッテ居リマス、ソレガ爲ニ世人ガ此法案ガアッタガ爲ニ、大變世ノ人ガ誤マラレタ、欺カレタト云フ事實ハ私ハ餘リナイト考ヘテ居リマス

○政府委員(富田勇太郎君) 法律ト會社ノ清算破産ノ場合トノ關係デアリマスガ、實ハ司法省ノ民事局長ガ出マシテ、更ニ午前ノ答辯ニ引續イテ申上ゲル筈デアリマスカ、杉本サンガ御出デニナリマセヌノデ、

チヨット機會ガアリマセヌカラ、又昨日モアリマセヌカラ、私カラ大藏省トシテ斯ウ云フ解釋ノ下ニ立法シタト云フコトヲ申シテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、松本サンノ御質問ハ會社ノ清算破産ノ場合デアリマスカ、會社ガ公債ヲ持ッテ居ル、其公債ヲ時價デ見積ルト云フコト、或ハ資本ノ半額ヲ失フ、或ハ資産デ債務ヲ辨濟出來ナイト云フヤウナ、詰リ破産ノ狀態ニナッテ居ル際ニ於テ、本法ヲ適用スルト云フト、發行價格又ハ取得價格デ評價シマス、詰リ時價ニ於テ評價シマスカラ、破産ノ範圍ニ入ラナイト云フノハ不都合デハナイカト云フ質問デアッタノデアリマス、此法律ハ財産目錄ノ中ニ通常時ニ作リマス所ノ通常財産目錄、清算破産等ノ場合ニ作リマス所ノ何ト申シマスカ、非常財産目錄トニツアリマスガ、此法律ハ通常財産目錄ニ記帳スベキ評價方法ノ特例デアリマス、今問題ニナッテ居リマス所ノ清算トカ、破産トカ云フヤウナ場合ニ調整スベキ財産目錄ノ問題ハ法律ノ適用ノ範圍外デアリマス、松本サンハ、其點ニ付キマシテ法律ニ清算破産ノ場合ニハ本法ヲ適用シナイ、斯ウ云フ明確ナ規定ガナケレバ同ジク適用サレテ不都合ジヤナイカ、斯ウ云フ御意見デアリマシタガ、本法

ニハ特ニ「商法第二十六條第二項ノ規定ニ拘ラズ」ト云フ文句ガアリマス、是ハ詰リ通常財産目錄ヲ調整スル時ニ於テハ商法ノ規定ニ依ラズ斯クノ評價ヲ爲シ得ルト云フノデアリマシテ、其以外ノ非常財産目錄、詰リ會社ガ資本ノ半額ヲ失フ爲ニ取締役ガ株主總會ヲ招集シナケレバナラストカ、或ハ資産デ債務ノ監査ガ出來ナイカラ破産ノ宣告ヲ請求ヲシナケレバナラストカ云フ場合ニ於ケル評價ハ此本法ヲ適用シ得ル範圍外デアルト云フ解釋デアリマス、此點ハ司法省トモ十分打合セラレ、政府トシマシテハ特ニ清算破産ノ場合ニハ本法ヲ適用シナイト云フ規定ヲ置カヌデモ、ソレハ商法第二十六條第二項ノ規定ニ拘ラズト云フ、詰リ通常ノ財産目錄ヲ調整スル場合ノ規定ト云フコトヲ言ッテ置ケバ、其清算破産ノ場合ガ除外サレルト云フコトハ當然デアアル、斯ウ云フ解釋ノ下ニ此立法ヲシタ譯デアリマス、其點ダケヲ申上ゲテ置キマス

○男爵小畑大太郎君 只今大藏大臣及政府委員ノ御説明デ大體諒承イタシマシタガ、念ノ爲一應伺ッテ置キマス、確力日露戰爭後ニ公債ノ優遇法ト云フコトガアッタデハナイカト思ヒマスガ、果シデアリマシタモノデスカドウカ、若シアリマシタトスレバ、

先程松本博士が言ハレルヤウナ支障ハアツ
タノデアルカドウカ、ソレヲ伺フテ見タイ
思ヒマス、唯其折ハ公債ノ相場ガ今日トハ
大分違フタト思フデアリマスカラ、或ハ松
本博士ノ御心配程ノコトハナカッタトモ思
ヒマスガ、政府委員デモ宜シウゴザイマス
カラ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(富田勇太郎君) 國債ノ評價ニ

特例ヲ設ケマシタコトハ明治三十八年ノ軍
事公債即チ特別五分利ヲ發行スル場合ニ最
低ノ發行價格ニ依リ得ルト云フコトノ規定
ヲ設ケタノデアリマス、今回ハ其範圍ヲ全
部ノ國債ニ……外債ハ除外シテアリマス
ガ、内債ニハ之ヲ總テ適用スルト云フ趣意
ノモノデアリマス、其點ニ於テハ先例ガア
ルト云フテ差支ナイト思ヒマス、併シ此軍事
公債ハ現在市價ガ騰フテ居リマス、發行價
格ハ九十五圓デアッタノデアリマスガ、現在
ハ九十七、八圓マデ騰フテ居リマシテ、實ハ
法律ノ適用ハ必要ナイコトニ相成フテ居リ
マス

○委員長(子爵前田利定君) チョット皆サ

ンノ御許シヲ願ヒマシテ、今ノニ關聯シタ問
題ヲ本席カラ伺ヒタイト思ヒマス、政府委
員デモ宜シウゴザイマス、破産トカ清算ト

カ云フ風ニ、明カニ破産スベキトカ、清算
スベキト云フコトニナツテ居ル會社ナラバ
御話ノ如ク、御答ノヤウニ、當然此特例ガ除
外サレルト云フコトハ諒承ガ出來マスケレ
ドモ、先刻松本議員ノ御尋ネニナツタノハ、
外觀カラノ破産トカ、清算トカ云フヤウ
ナハッキリシタコトニ言フテ居ラナイノデ、
只國債ノ計算ノ仕方ニ依ッテハ破産ニナリ、
或ハ計算ノ仕方ニ依ッテハ破産ニナラヌ、斯
ウ云フヤウナ場合ノ會社ニ特例ヲ適用スル
ト云フコトハ債權者保護ニハナラヌノデヤ
ナイカ、斯ウ云フ風ニ言ハレタヤウニ聽
イテ居リマシタガ、サウ云フ場合モ矢張り
當然除外サレルト云フ御答ナンデセウカ

○政府委員(富田勇太郎君) 只今ノ御質問

ノ場合デアリマスガ、會社トシテハ財産目
録ニハ此特例ニ依リマシテ特別ノ評價ハ爲
シ得マスケレドモ、責任アル監督ノ地位ニ
……管理ノ責任アルモノハ常ニ他方ニ於テ
時價ヲ考ヘマシテ、帳簿ニハ斯ウ書キマス
ガ、時價デハ幾ラニナルト云フコトヲ常ニ
注意ラスベキモノト考ヘテ居リマス、ソレ
デ時價ニ計算シマシテ、若シ商法ノ破産ナ
リ、清算ノ範圍ニ這入ル場合ニハ、其取締
役ト云フモノハ商法ノ命令スル所ノ處置ヲ
執ラナケレバナラヌト云フコトニ相成ルカ

ト考ヘマス、ソレデ詰リ時價ニ依レバ清産
破産ノ範圍ニ這入ルカドウカト云フコトハ
明確ニ分ルコトデヤナイカト考ヘラレマ
ス

○委員長(子爵前田利定君) 尙ホ續ケテ御

伺ヒ致シマスガ、成程サウ云フ場合ニハ兩
様ノ參考ノ爲ニ計算デモ附イテ居リマスレ
バ明カニナルデアリマセウケレドモ、會社
ノ當事者トシテハ此特例ガ當然適用サレル
ト云フコトデアリマスレバ、考課狀ノ上ニ
於テ此會社ガ矢張り立派ニ存立シテ行クト
云フコトヲ認メラレナケレバナラヌ譯デア
ルガ、同時ニ蛸配當ノ如キモ當事者ノ如何
ニ依ッテハ共謀シテヤラス限リデハナイ、而
シテ株主ニ強硬ナル株主ガ澤山居ラレレバ
宜シイケレドモ、株ヲ重役ガ大部分デモ占メ
テ居ル時ニハ其儘其案ハ通ッテシマウト云
フコトニナツテ、何等ソレニ付テノ制限ヲ受
ケル法ノ根據ガナイト云フト、横暴ナル重
役ダトヤラスコトモナイヤウニ考ヘラレ
ル、其債權者ガ矢張り不利ナ狀況ニ置カレ
テ來ルト云フコトニナリハシナイカ、實際
問題トシテハ極メテ稀カモ知レマセヌガ、
松本議員ノ心配サレタノハ其點デアラウト
私ハ推察スルノデス

○政府委員(富田勇太郎君) 只今ノ委員長

ノ御言葉ノ點ハ法律問題ニ相成リマスノ
デ、私カラ御答スルコトハ差控ヘマスガ、
何レ司法省ノ政府委員ニデモ來テ貰ッテ、其
點ヲ御答シタラ宜イト思ヒマスガ、今ノ委
員長ノ御話ノ點ハ詰リ商法ノ六十三條ノ
「會社財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ完済スルコ
ト能ハサルトキハ各社員連帶シテ其辨濟ノ
責ニ任ス」ト云フ規定及ビ「會社カ其資本ノ半
額ヲ失ヒタルトキハ取締役ハ遲滞ナク株主
總會ヲ招集シテ之ヲ報告スルコトヲ要ス」
ト云フヤウナ、サウ云フ條文ノ適用問題ニ
ナルト思ヒマスガ……ソレガ適用問題ト相
成リマスルノデ、是ガ現在ドンナ法律デ實
際適用サレテ居リマスルカ、ソレヲ一ツ司
法省カラ申上レバ今ノ御尋ネノ點ハ自ラ明
確ニナルノデヤナイカト考ヘラレマス、其
點ハ法律問題デアリマスノデ、私カラ申上ル
コトハ遠慮イタシタイト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) ソレハ宜ウゴ

ザイマスガ、御傳ヘ願ヒタイコトハ、此計
算ノ仕方ニ依ッテハ資本ノ半額以下ニ落ち
ルトカ、或ハ破産シナケレバナラヌ狀態ガ
惹起シ得ベキ狀態ニナツテモ、計算ノ仕方ニ
依ッテハ有利ニ……利益ガ舉ガル、左様ナ場
合ニ其會社ノ重役ガ、今度ノ特例ニ據ラナ
イデ時價ニ依ッテ正直ニ算出シテ來レバ宜

ウゴザイマススケレドモ、當然此特例ガ適用
サレルト云フコトニナレバ、時價ニ據テハ
危イ状態ニナルニ拘ラズ、此特例ヲ適用サ
レルノダト云フ、斯ウ云フ見地カラ泰然自
若トシテ有利ナ利益配合案ヲ作ラナイトモ
限ラナイ、ソレヲ制限スベキ、抑制スベキ
法ノ規定ガナイノデスカラ、自覺シテ
モ……時價デ計算スレバ、當然是ハ辨濟ガ
出来ナイノダ、斯ウ云フ風ニ認メテ其通り
デ取扱ヘバ宜ウゴザイマスガ、斯ウ云フ特
例ガアルトスレバ、此特例ヲ利用シテ有利
ノ方ニ解釋ヲ立テテ來ラレモ仕方ガナイ
ノデヤナイカト思ヒマスガ、其點ナンデス、
只今デナクテモ宜ウゴザイマスガ……何カ
御質疑ガゴザイマスナラバ、ドウカ……ド
ノ案ニ對シマシテモ宜シウゴザイマス
○木村清四郎君 上海ノ在留邦人ノ事業復
興資金ト云フ造幣局ノ特別會計ニ屬スル資
金ヲ五萬貫出シテ貸ス、斯ウ云フコトニナ
テ、サウシテ其特別會計ノ補填ハ五年以內
ニ一般會計ノ負擔デ之ヲヤル、斯ウ云フコ
トニナッテ居リマスガ、若シ其五年以內ニ地
方ノ貸付ケタ銀ノ資金ト云フモノガ歸ッテ
來ナイト云フ時ニハ一般會計ノ始末ヲ何ト
カシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナル
ヤウデアリマス、先程御話ニ依ルト、貸付

ノ期限ト云フモノハ長期ト云フコトデゴザ
イマシタガ、此長期ト云フノハ、凡ソ五年
以內ト云フコトデ御ヤリニナルノデスカ、
又五年デナシニ事態ガ事態デアルカラ、モ
ウ少シ長ク貸付ケルト云フコトデナケレバ
事實ノ問題トシテ何ニモナラヌダラウト思
ヒマスガ、サウスルト、一般會計ノ方カラ
出シテ此造幣局ノ特別會計ヲ補填スルノニ
五箇年以內デアルト云フコトニナルト、一
般會計ニチヨット缺陷ガ出来ルノデスカラ、
何カ財政上ノ處分ヲシナケレバナラスト云
フヤウナ氣持ガシマス、此貸付ノ期限ハド
ウ云フ風ニ爲サル積リデアルカ、唯長期ト
云フコトヲ書イテアリマスガ、御考ガアレ
バ……、モウ一ツ利率デアリマスガ、斯ウ
云フ場合デスカラ、極ク安イデセウガ、凡
ソ幾ラ位ノ利率デアリニナルカト云フコ
トヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツ序ニ伺ヒ
タイノハ、先程御話ノ主トシテ上海ガ非常
ナエライ慘害ヲ受ケタ、是ガ主デアルガ、
其他ノ方面ニ於テモ無論此場合ニ損ヲスル
ト云フ御考ノヤウデアリマシタガ、サウシ
マスルト、例ヘバ上海カラズットアノ奥ニ這
入ッテ漢口デモ隨分有力ナ仕事ヲシテ居ル
人デ難儀シテ居ル人モ隨分アル、例ヘバ慈
善事業ノ病院ナラ、病院ヲシテ居ルト云フ

ヤウナ、サウ云フヤウナ人ガ非常ナ難儀ヲ
シテ居ル、斯ウ云フ方面迄モ無論及ボスノ
デアラウト思ヒマスガ、ドウデアリマセウ
カ、其三項ヲ一ツ……
○政府委員(瀧正雄君) 一般會計ノ方デ五
箇年經テカラハ一部分ヅ、補填シテ行クト
云フコトニ付キマシテハ、大藏省ノ方ノ政
府委員カラ御答ヘシタ方ガ、宜シイカト存
ジマス、利率ハドウ云フ工合ニスルカト云
フコトニ付テハ、實ハマダ此法律案ガ成立
シテ居リマセヌノデ、其契約マデ立至テハ
居リマセヌト云フノガ事實デゴザイマス、
今私カラ斯ナヤウナ下相談ガアルト云フ
ヤウナコトヲ申上ゲルノハ早計カト思ヒマ
スケレドモ、併シ下相談ト申シマスガ、ア
スコノ居留民團ナドカラ話ハ聞イテ居リマ
ス、斯ウデモシテ貰タラバト云フヤウナ必
ズサウナルト云フ斷定ノ意味デナシニ、耳
ニ這入ッテ居ル儘ヲ申上ゲマスレバ長期ノ
年賦償還デ行ク、斯ウ云フコトニ付テハ斯
シナコトヲ先方カラハ言ッテ來テ居ル、初メ
三箇年間ハ据置キ、ソレカラ次期ノ七年箇
間ト言ヒマス、四年目カラ十年目迄ノ間、
ソレダケハ利息ダケヲ三パーセント位、三
分位拂フ、サウシテ十一年目カラ二十年
目迄ノ間ハ利息ヲ三分ト、ソレニ元本ヲ「テ

ンパーセント」、一割ヅツ拂フヤウニスル
ト云フヤウナコトデ行カナイデセウカト云
フヤウナ、下相談トデモ申シマセウカ、一
方の意見ト云フヤウナ申込ミモアルコト
ハアリマスガ、併シサウ云フ工合ニ果シテ
纏ルカドウカト云フコトハ、將來外務省ト
大藏省トノ打合せ、及ビ先方トノ詮議ノ結
果決マルコトト思ヒマシテ、マダ何トモ申
上ゲ兼ねマス、唯ソシナヤウナ下相談ガア
ルト云フコトダケヲ御參考ノ爲ニ申上ゲテ
置キマス、サウ云フ状態デアリマスルカラ、
五箇年經タ後ニ一部分ヅツ一般會計カラ
補填スルト云フ計畫ニ付テハ大藏省ノ方カ
ラ御説明ガアラウト思ヒマスカラ、左様御
了承願ヒマス
○政府委員(富田勇太郎君) 是ハ造幣局ノ
資金ハ法律上ノ規定ニ依リマシテ、特定ノ
用途ガアッテ之ヲ持ッテ居ル譯デアリマスカ
ラ、何時迄モ約五百萬圓ノ金額ノ財源ヲ見
出シテ補填シテ行カナケレバナリマセヌ、
他方ニ於キマシテ此貸付ノ期限ガマダハ
キリ決ッテ居リマセヌカラ、五年以內ニドレ
位還ヘルカト云フコトガ今豫定出來マセヌ
ガ、若シ五年以內ニ還ル分ガアリマスレバ、
ソレヲ財源トシテ一般會計カラ造幣局ニ補
填サセル考ヘデアリマス、若シ五年以內ニ

還ラナイ部分ガアレバ、ソレハ一般會計デ財源ヲ差シ繰リマシテ、サウシテ自ラノ負擔ニ於テ財源ヲ調達シテ造幣局ニ還ヘス考ヘデアリマス

○加藤政之助君　チョット今資金問題ガ出タカラソレニ付テ私質問シタイ、銀地金ヲ五百万圓ダケ、ソレニ相當スル額ヲ御貸シスル、一體此銀ノ地金ト云フモノハ造幣局ガ貯藏シテ居ッタラ、ドウ云フ用途ニ供スル必要カラ之ヲ貯藏シテ居ッタモノデアリマスカ、又其總額ハ幾ラニナッテ居リマスカ、此中ノ五百万圓ニ相當スルダケノモノヲ貸出シテモ何等造幣局トシテハ差支ヘノナイモノデアルカ、其三點ヲチョット……

○政府委員(富田勇太郎君)　只今ノ御質問ノ國庫ハドウ云フ目的デ銀地金ヲ持ッテ居ッタノデアルカ、現在ドレ位銀ヲ持ッテ居ルカト云フ點デアリマス、此造幣局デ現在持ッテ居リマス所ノ銀ハ、金額ニシマシテ二千九百八十万圓デアリマス、是ハ造幣局デ評價シテ居ル價額デアリマシテ、例ヘバ銀ノ一匁ハ現在十一錢位デアリマスガ、之ヲ十八錢位ニ評價イタシテ居リマス、時價デ申シマスト是ハ餘程減ッテ來ルノデアリマス、ソレデ此造幣局資金デ持ッテ居リマス所ノ銀ハ元ト一般會計デ國庫金トシテ持ッテ居

タノデアリマス、持ッテ居リマシタ譯ハ、將來ノ銀貨ノ鑄造地金ニスルト云フ目的モアリマシタケレドモ、他方ニ於テハ、日本トシテ東洋ニ國ガアリ、銀貨國タル支那其他ヲ持ッテ居リマス以上ハ、將來一朝事有ル際ニ於テ、相當ノ纏ッタ銀ヲ持ッテ居ナケレバ、非常時ニ處スルニ困ルデアラウト云フ、斯ウ云フ點モ考ヘマシテ、國庫金ノ都合ノ許ス場合ニ於テハ銀地金ヲ買ヒ、之ヲ通貨トシテ持ッテ居ッタノデアリマス、然ルニ造幣局ノ資金ガ、補助貨ノ鑄造益金ガ段々殖エテ參リマシテ、或ハ教育改善、農村振興、特別會計ヲ作りマス時ニ一億四千万以上ノ資金ヲ此造幣局資金ノ方カラ繰出シタノデアリマス、其他サウ云フ一般財政ヲ助ケルコトヲヤリマシタケレドモ、尙ホ三千万圓カラノ資金ガアリマシタカラ、其資金ヲ以テ、國庫勘定デ持ッテ居リマシタ所ノ銀地金ヲ持ッタシマシテ、國庫金ノ固定ヲ解イタト云フノガ、此造幣局資金トシテ二千九百万圓カラノ銀地金ヲ持ッテ居ッタ沿革デアリマス、ソレデ造幣局資金トシマシテハ、是ハ法律ノ規定ニ依リマシテ、第一ニハ舊貨幣及ビ流通不便貨幣ノ交換及ビ處分ニ關スル經費ニ使フ、詰リ舊貨幣ヲ額面デ引揚ゲマス、ソレヲ溶解イタシマシテ、地金化スル爲ニ

ハソコニ損ガ出マスカラ、其損ヲ負擔スルノガ其資金ノ役目デアリマス、例ヘバ五十錢ノ銀貨ヲ鑄造シマスルト、確力地金鑄造費モ入レマシテ、現在ノ銀ノ時價デ計算シマスト十錢位ト考ヘマス、サウスルト四十錢ノソコニ損ガ出マスカラ、其損ヲ負擔スルノガ此資金ノ役目デアリマス、ソレガ此資金ノ第一ノ目的デアリマス、第二ニハ將來ノ補助貨ノ材料地金ヲ持チマス、ソレガ第二ノ目的デアリマス、第三ニハ造幣局ハ常時補助貨ヲ鑄造シマスケレドモ、市場ノ景氣ノ狀況ニ依リマシテ其補助貨ヲ要シナイ場合ガアリマス、サウシマスルト云フト、其補助貨ヲ一旦發行シマシテモ、ドン／＼國庫ニ還ッテ參リマス、然ルニ景氣ガ少シク好クナリマスルト云フト、兌換券ハドン／＼増發シマスルシ、又補助貨モ能ク利用サレマシテドン／＼出テ參リマス、ソレデ國庫トシテマシテハ相當ノ補助貨ノ「ストック」ヲ持ッテ居リマセスト、市場ノ景氣不景氣ニ應ジマシテ補助貨ノ需要ニ應ジ得マセヌカラ數千万圓ノ補助貨ノ「ストック」ヲ要シマス、其一部ヲ造幣局資金トシテ持タスルト云フ方針デ法律デモ其通り規定イタシテ居リマス、サウ云フ譯デ現在資金ガ今ドウ云フモノヲ持ッテ居ルカト申シマスルト云フ

ト、今ノ流通不便貨幣ガ三百万圓アリマス、ソレカラ詰リ舊貨幣ヲ引上ゲテ持ッテ居リマスルノガ千七百万圓アリマス、ソレカヲ先程申上ゲマシタル補助貨ヲ造リマシテ、實際發行スル迄ニ此資金デ持ッテ居リマスモノ、之ヲ未發行補助貨ト申シテ居リマスガ、是ガ三百万圓、其外ニ先程申上ゲマシタル銀其他ノ地金ガ二千九百万圓、全體ノ資金ガ五千八百万圓ニナリマスカラ、現金デ持ッテ居ルノガ四百六十萬圓デアリマス、是ハ造幣局ノ作業部デ運轉資金ガ要リマスカラ、ソレニ法律ノ規定デ以テ現金ガアリマスレバ鑄造材料ノ購入代金ニ付テハ繰替使用、詰リ資金ノ金ヲ繰替ヘテ使ヘルト云フコトニナッテ居リマシテ、是位ノ現金ヲ常時持ッテ置ク必要ガアルノデアリマス、大體左様デアリマス

○加藤政之助君　今五百万圓出シテモ一向其運用ニハ故障ヲ生ジナイデスナ

○政府委員(富田勇太郎君)　此銀ハ將來ノ補助貨ノ鑄造地金デアリマスカラ、今直グニハ要リマセヌ、ソレデ五年位ノ期間ナラバ一時之ヲ他ニ使ハシテモ差支ナイガ、イツ迄モ之ヲ返サニヤ困リマスカラ、五年ニハ一般會計デ財源ヲ差繰ッテモ返シテ貰フノガ此法律ノ第三項ノ規定ニナッテ居リマス

○政府委員(瀧正雄君) 先刻木村委員ノ御

質問ニ對シテツイ失念シテ一ツノ答辯ヲ忘

レマシタ、ソレハ上海ヲ主トシテ救済スル

デアラウガ漢口方面ニモ及ブカドウカト云

フ御質問ニ對シテ、ツイ答辯ヲ忘レマシ

タ、成ルベク他ノ地方ニ對シテモ割當テル

ヤウニト云フ考ヲ持テ居リマシテ、只今漢

口ニ付テソレデハヤルカドウカト云フコト

ニ付テ明白ニ御答ヲスルコトハ出來マセヌ

ケレドモ、兎ニ角其必要ノ程度ヲ能ク調査

研究シタ上デ決定シテ行キタイト思フテ居

リマス

○委員長(子爵前田利定君) 御質疑ガゴザ

イマセヌカ、御質疑ガゴザイマセヌケレバ

討論ニ移リタイト思ヒマス、先ヅ昭和七年

法律第一號中改正法律案、滿洲事件經費支

辨ニ關スル公債發行ノ限度ニ關スル法律案

デアリマスガ、之ヲ議題ニ供シマス、何等

御意見ノ御陳述ガゴザイマセヌカ……ソレ

デハ採決ニ付シマス、本案ニ付テ御異存ゴ

ザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○加藤政之助君 已ムヲ得ヌモノト認メマ

ス

○委員長(子爵前田利定君) 他ニ御意見ガ

ゴザイマセヌカ、……採決ニ付シマス、本

案ヲ可決イタシマシテ差支ヘゴザイマセヌ

カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(前田利定君) 本案ハ可決イタサ

レマシタ、……第三、行政整理又ハ軍備整

理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公

債發行ニ關スル法律案、之ヲ問題ニ供シマ

ス、別ニ御意見ゴザイマセヌカ……本案ハ

可決シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 本案ハ可決イ

タサレマシタ、第四、昭和七年度以降國債

償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル法律案、

之ヲ問題ニ供シマス

○加藤政之助君 此案ニ對シテハ先刻質問

イタシマシタ通り、私ハ政府ト意見ヲ異ニ

シテ居リマス、併シ此場合モウ一旦提案サ

レタ以上ハ可決サレルコトヲ穩當ト認メマ

ス

○委員長(子爵前田利定君) 本案ハ可決イ

タシマシテ御異議ゴザイマセヌカ

タ……第五、國際ノ價格計算ニ關スル法律

案、之ヲ問題ニ供シマス、別ニ御意見アリ

マセヌカ、……御異議ナイモノト認メテ宜

シウゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 本案ハ可決サ

レマシタ、……第六、是ハ恩給ニ關スル法

律案デアリマス、之ヲ問題ニ供シマス、御

異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイト

認メマシテ本案ハ可決サレマシタ、……造

幣局資金拂出ニ關スル法律案、之ヲ問題ニ

供シマス、本案ニ付テ御異存ゴザイマセヌ

カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモ

ノト認メマシテ此案ハ可決イタサレマシ

タ、是ニ依リマシテ本特別委員會ニ付託サ

レマシタ昭和七年法律第一號中改正法律案

外六件ノ諸案ハ全部全會一致ヲ以テ可決イ

タサレマシタ、是デ散會イタシマス

午後二時四十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵前田 利定君

副委員長 木村清四郎君

委員 侯爵大隈 信常君

侯爵細川 護立君

子爵梅小路定行君

大島 健一君

柄内會次郎君

男爵菊池 武夫君

男爵井田 磐楠君

男爵小畑大太郎君

加藤政之助君

金杉英五郎君

五十嵐甚藏君

山上 岩二君

本間千代吉君

松本 丞治君

國務大臣 高橋 是清君

大藏大臣 堀切善次郎君

法制局長官 樋貝 詮三君

內閣恩給局長 瀧 正雄君

外務政務次官 武富 敏彦君

外務省通商局長 上塚 司君

大藏參與官 藤井 真信君

大藏省主計局長 富田勇太郎君

大藏省理財局長 川越 文雄君

大藏書記官 關原 忠三君

同 賀屋 興宣君

同 司法省民事局長 長島 毅君